

SHARP®

マルチメディアプロジェクター

形名 エックスアール エックス

XR-1X

エックスアール エス

XR-1S

取扱説明書



(写真はXR-1Sです。)

このたびはシャープマルチメディアプロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。・・・6ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

はじめに

基本的な使い方

設置する

接続する

使ってみる

便利な機能

付録

もくじ

まず

はじめに

もくじ	2	使用上のご注意	10
この取扱説明書の見かた	4	各部のなまえとはたらき	12
付属品について	5	ボタン電池の入れかた	14
安全に正しく お使いいただくために	6	リモコンの使用範囲	15

基本的な使いかた

基本的な使いかた	16
----------------	----

設置する

本機を設置する	18	反転映像を投映するとき	18
本機の設置のしかた	18	画面サイズと投映距離 (XR-1X)	19
基本的な設置 (前面からの投映)	18	画面サイズと投映距離 (XR-1S)	20

接続する

接続する	21	コンピュータを接続する	23
各入力端子とおもに接続する 機器	21	ビデオ機器を接続する	24
接続する機器と使用する ケーブル例	22	電源コードを接続する	25

さあ

使ってみる

電源の入れかた/切りかた	26	本体の音量を調整する	29
投映のしかた	27	投映した映像と音声を 一時的に消す	29
セットアップガイドについて	27	入力信号に合わせた 画面サイズを選ぶ	30
投映画像を調整する	27		
入力を切り換える	29		

便利な機能

リモコンで投映画像を調整・ 操作する	32	画面に表示されている情報を表示しないように設定する (画面表示) ..	44
コンピュータから入力された画面を 自動同期調整する (自動同期調整機能)	32	無信号時やオープニング時に 投映する画面を設定する (バックグラウンド設定)	45
投映中の画像を静止画にする	32	セットアップガイド表示を設定する ...	45
投映する画像に合わせた 映像モードを選ぶ	32	投映環境に合わせた投映方式を 選択する	46
マウス機能を使う	33	画面に表示する言語を選択する (言語選択)	46
メニュー内容一覧	34	本体機能を設定する (本体設定メニュー)	47
メニュー操作のしかた	36	エコ/静音モードを設定する	47
メニュー画面で調整する	36	自動入力サーチ機能を設定する	47
メニュー画面で設定する	38	無信号状態が続いたときに電源を 自動的に待機状態にする (無信号電源オフ機能)	48
投映した映像を調整・設定する (映像調整メニュー)	40	ガイドLEDの入/切を設定する	48
映像モードを選ぶ	40	プロジェクターを不正に 使用できないようにする (システムロック設定)	49
見やすい映像に調整する	40	キーコードを設定・変更する	49
色味を変える (色温度設定)	41	確認音を設定する	50
白レベル (白伸長) を設定する	41	ランプ使用時間を確認する (ランプ時間 (残率))	50
プログレッシブモードを選択する ...	42	操作に困ったときは (ヘルプメニュー)	51
原画像に近い色合いにする (sRGB設定)	42	「ヘルプ」メニュー画面を表示する ...	51
表示のしかたを設定する (表示設定メニュー)	43		
画面サイズを設定する	43		
映像の位置を上下方向に調整する (画面シフト)	43		
画面の台形歪みを補正する	44		

こんなときは・・・

付録

お手入れのしかた	52	RGB入力信号 (推奨信号) について	59
お知らせ表示について	53	故障かな? と思ったら	60
ランプを交換する	55	お客様ご相談窓口のご案内	62
ランプについて	55	アフターサービスについて	64
ランプ交換のしかた	56	仕様	65
ランプ使用時間をリセットする	57	寸法図	66
本体のコネクターのピン配置	58	索引	67

この取扱説明書の見かた

■XR-1XとXR-1Sでは、仕様が一部異なりますが、接続や操作のしかたは同じです。本書では、XR-1Sを例に説明しています。

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なる場合があります。

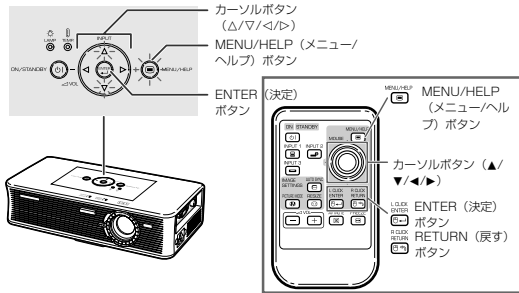
メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。(設定方法は38～39ページをご覧ください。)

本体で操作するとき

メニュー項目の「本体設定」で「ガイドLED」が「入」に設定されているときはメニュー設定中に使用できる本体のボタンが点灯します。

例: 本体の△ボタンと◎MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタンが点灯しているときは、△ボタンと◎MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタンが使用できます。



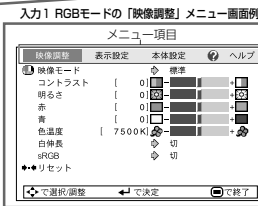
使用するボタンです

メニュー画面で調整する

例: 「明るさ」を調整するとき

・本体のボタンを使って操作することもできます。

- 1 **MENU**を押す
・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 2 **▶** または **◀** を押し、調整するメニュー項目を選ぶ
・選ばれたメニュー項目の色が変わります。



操作するボタンです

表示される画面です

36

お知らせ

・特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ

・操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをする
ときは

52ページ

故障かな?と
思ったら

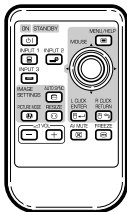

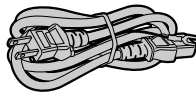
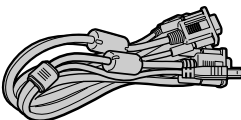
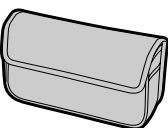

60ページ

索引

67ページ

付属品について

付属品

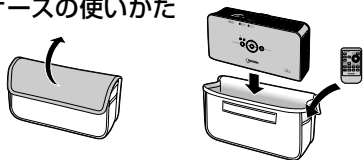
<p>リモコン</p> 	<p>ボタン電池 (CR2025)</p> 	<p>電源コード (1.8 m)</p>  <p>(この電源コードはXR-1X・XR-1S専用品です)</p>
<p>RGB/USBケーブル (1.8m)</p> 	<p>ソフトケース</p> 	<p>ケーブルバンド (2本)</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・RGB/USBケーブル用 ・電源コード用
<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書 (本書) ・保証書 (箱に貼り付け) 		

別売品のご案内

<ul style="list-style-type: none"> ■3RCA (コンポーネント) / 15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) ■ランプユニット 	<p>AN-C3CP AN-XR1LP</p>
--	-----------------------------

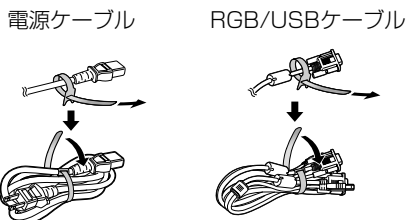
プロジェクターを持ち運ぶ

ソフトケースの使いかた



ケーブルの束ね方

付属のケーブルバンドを使い束ねます。



お知らせ

- ・本体が十分冷えてから収納してください。
- ・このソフトケースはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。
- ・トラック使などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときは緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。

メモ

- ・ケーブルはソフトケースには入りません。ケーブルは別に持ち運んでください。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が多数あります。万一、さわると危険です。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



警告

表示された電源電圧で使用する



●表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



●この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



●投影中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



●投影中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。

ボタン電池は幼児の手の届かないところへ置く。飲み込んだときは、ただちに医者と相談を



●ボタン電池を取り外した場合は、誤って口に入れることがないように保管してください。飲み込んで胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

不安定な場所に置かない



●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



●この機器の開口部（通風孔など）から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



●異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



●こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



●水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



●感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない

風呂、シャワー室では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

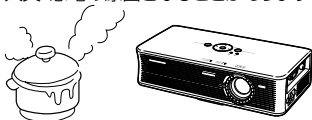
重いものを置かない



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。



- 火災・感電の原因となることがあります。調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

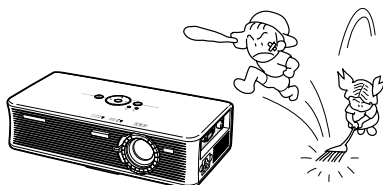


- この機器の上に重いものを置かないでください。



- バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗りしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

<p>移動させるときは必ず接続線ははずす</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p>	<p>お手入れのときは電源プラグを抜く</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</p>	<p>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは、根元まで差し込んでゆめみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。
<p>指定以外の電池は使用しない</p>	<p>電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

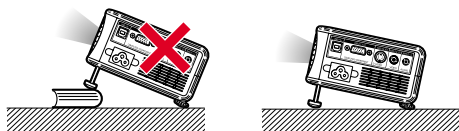
■湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を設置するときは

■本機を設置するときは、水平な場所に設置しアジャスターの調整範囲内でご使用ください。



⚠ 注意

電源を切った(待機状態にした)直後は逆さ置きにしないでください。

●ランプユニットカバー温度が上昇し、やけどの原因となる場合があります。



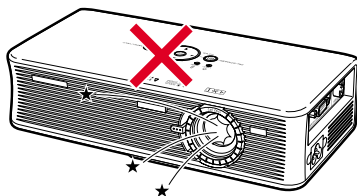
高所に設置したときは、本機をしっかりと固定してください。

●落下して、破損・けがの原因となる場合があります。



衝撃を与えないでください

■レンズには、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

■使用温度範囲 5℃～35℃

■保存温度範囲 -20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。

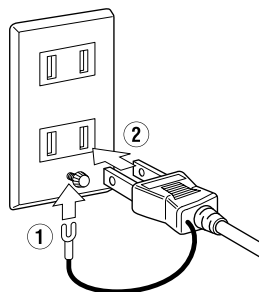
■排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。

■冷却ファンがふさがれると、内部温度上昇のため保護回路が動き自動的に待機状態になる場合があります。(53～54ページ)このようなときはプロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない場所に設置してもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。

■電源を切ったとき、本体の冷却のため、しばらくは冷却ファンが動作します。コンセントを抜くときは、必ず冷却ファンが停止してから抜いてください。設置状態や本体内部の温度により、冷却ファンが停止する時間は異なります。

電源コードの接続について

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



輸送や持ち運び時のご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。
- 持ち運ぶときは、レンズ部を持たないでください。
- 持ち運ぶときは、付属品のソフトケースに入れてください。（5ページ）

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関する注意

- 「ランプについて」（55ページ）もご覧ください。
- 廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

- ランプが破裂するとガラス破片だけがをるおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

・ この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。
 その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

各部のなまえとはたらき

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

ランプ表示

ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタン
電源を入れたり、待機状態にします。

ENTER (決定) ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

カーソルボタン (△/▽/◀/▶)
メニュー設定に使用します。

前面





高さ調整ボタン

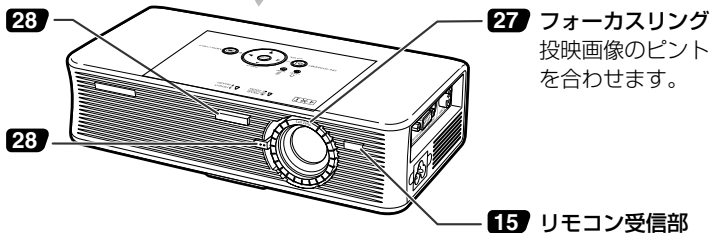
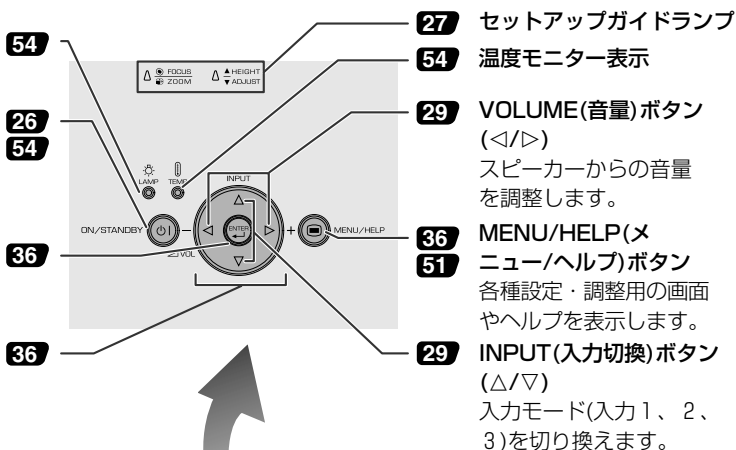
ズームレバー
投映画像を拡大/縮小します。

本体のランプ表示について

ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタン	赤色点灯	スタンバイ中です
	緑色点灯	電源「入」の状態です
	赤色点滅	異常があります (54ページ)
ランプ表示	緑色点灯	正常
	緑色点滅	光源起動中/終了中
	赤色点灯	ランプが正常に起動 (点灯) しなかったとき、ランプの交換時期となったときです (54ページ)
温度モニター表示	消灯	正常
	赤色点灯	内部温度が上昇しています (54ページ)

セットアップガイドランプ

フォーカス/ズーム表示	 FOCUS  ZOOM	オレンジ色点滅	セットアップガイド画面で「1 FOCUS」または「3 ZOOM」が選ばれているとき (27ページ)
高さ調整表示	 HEIGHT  ADJUST	オレンジ色点滅	セットアップガイド画面で「2 HEIGHT ADJUST」が選ばれているとき (27ページ)



■の中の数字は参照ページを示します。

本体右側面

側面端子 …接続する機器については21ページの「各入力端子とおもに接続する機器」をご覧ください。

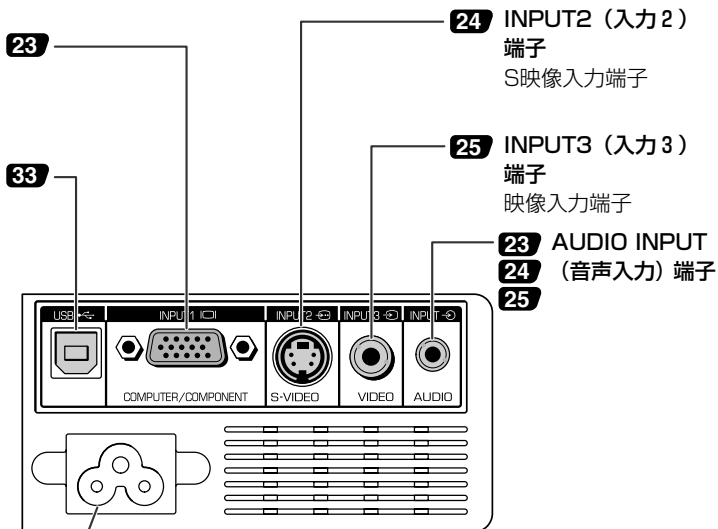
INPUT1 (入力1) 端子
RGB/コンポーネント
入力端子

USB端子
コンピューターの
USB端子と接続する
ことにより、付属の
リモコンをマウスと
して使用できます。

AC電源ソケット
付属の電源コード
を接続します。

吸気孔

リモコン受信部



25

52 排気孔

盗難防止用コネクター
(Kensington Security Standard connector)

28 後部アジャスター

52

15

盗難防止用コネクターについて

・市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

各部のなまえとはたらき(つづき)

リモコン

■の中の数字は参照ページを示します。

26 ON/STANDBY(オン/スタンバイ)ボタン
電源を入れたり、待機状態にします。

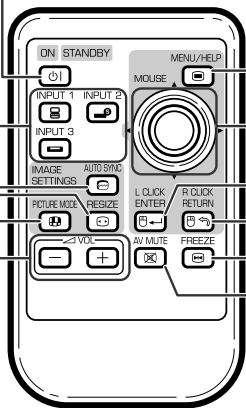
29 INPUT(入力切換)1、2、3ボタン
入力モードを切り換えます。

32 AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

30 RESIZE(画面サイズ切換)ボタン
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

32 PICTURE MODE(映像モード)ボタン
映像に合わせて映像モードを切り替えます。

29 VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。



36 MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタン
51 各種設定・調整用の画面やヘルプ画面を表示します。

33 カーソル/マウスボタン(▲/▼/◀/▶)
36 ●本機に付属のRGB/USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子を接続しているときは、マウスボタンとして働きます。
●メニュー画面を表示しているときは、カーソルボタンとして働きます。

33 L CLICK/ENTER(左クリック/決定)ボタン
36 ●本機に付属のRGB/USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子を接続しているときは、左クリックボタンとして働きます。
●メニュー画面を表示しているときは、メニューで選択・調整した項目を決定します。

33 R CLICK/RETURN(右クリック/戻す)ボタン
36 ●本機に付属のRGB/USBケーブルを使ってパソコンのUSB端子を接続しているときは、右クリックボタンとして働きます。
●メニュー画面を表示しているときは、1つ前の操作状態や前画面に戻します。

32 FREEZE(静止画)ボタン
映像を静止画の状態にします。

29 AV MUTE(AVミュート)ボタン
プロジェクターから投映されている映像とプロジェクターの音声を一時的に消します。

メモ

・カーソル/マウスボタン以外のボタンは、暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。(蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに低減します。)

ボタン電池の入れかた

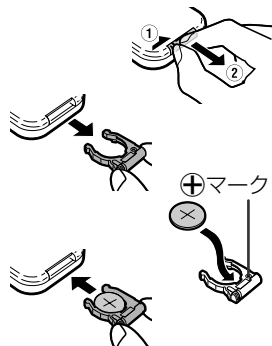
1 ツメを右に押したまま、スリット部分に爪をかけ(①)、ボタン電池入れを少し引き出す(②)

2 ボタン電池入れを引き抜く

3 同梱のボタン電池(CR2025)を入れる

・ボタン電池入れの⊕マークとボタン電池の⊕面を合わせて入れてください。

4 ボタン電池入れをリモコンに戻す



リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。

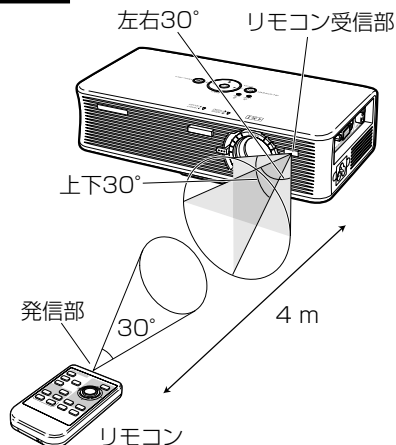
メモ

- ・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

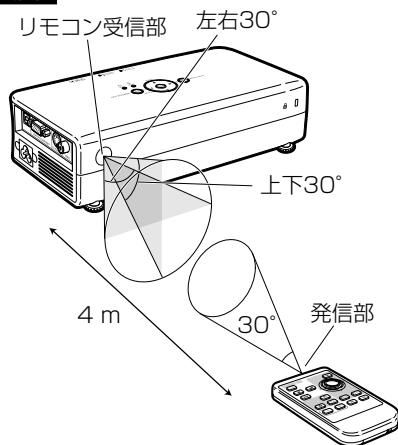
リモコン使用上のご注意

- ・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- ・蛍光灯の下では、リモコンの動きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

前面



後面



ボタン電池について

ボタン電池の取り扱いについて

- ・ボタン電池の取り扱いについて、7・9ページも合わせてご覧ください。
- ・ボタン電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐに取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布で拭き取るなど十分に注意ください。
- ・万一、液もれが起きたときはよく拭き取ってから新しいボタン電池を入れてください。

電池の交換について

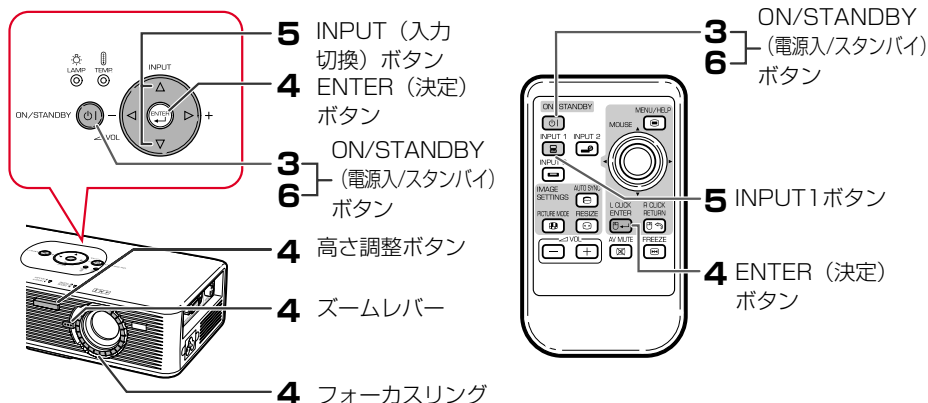
- ・リモコンのボタンを押しても本体が反応しなくなった場合には、新しいボタン電池（CR2025）と交換してください。
- ・交換したボタン電池を廃棄する場合は、電器店などのボタン電池回収箱に入れてください。

基本的な使いかた

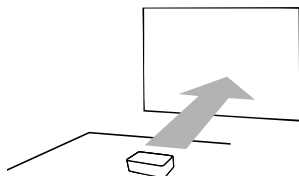
このページでは、本機の基本的な使いかた（コンピューターを接続して投映）を説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

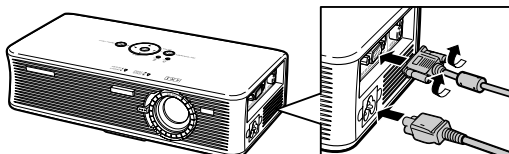


1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く



➔18ページ

2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、24、25ページをご覧ください。

➔21-25ページ

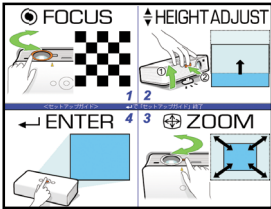
3. ON/STANDBYボタンを押し、電源を入れる



➔26ページ

4. 投映された画像を調整する

- 1** 本体が起動すると、セットアップガイド画面が表示されます。(セットアップガイド「入」時、45ページ)

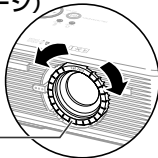


- セットアップガイド画面を参考に、ピントや投映角度、画面サイズを調整します。
- セットアップガイド画面は **ENTER** を押すと終了します。

2 ピントを合わせる (27ページ)

- フォーカスリングで調整

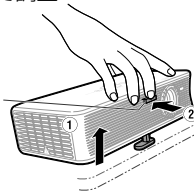
フォーカスリング



3 投映角度を調整する (28ページ)

- アジャスターで調整

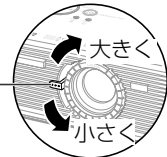
高さ調整ボタン



4 投映映像の大きさを調節する (28ページ)

- ズームレバーで調整

ズームレバー

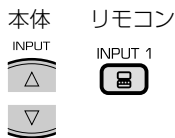


- 5** ピント、投映角度、画面サイズを調整したら、**ENTER** を押し、セットアップガイド画面を終了する。

➡27ページ

5. 入力モードを選ぶ

INPUT (入力切換) ボタンで「入力1」を選ぶ



▼画面表示(RGB信号入力時)

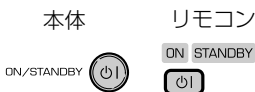


- 本体の△または▽INPUTボタンを押すと、**入力1↔入力2↔入力3**の順番で切り換わります。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、**INPUT 1/INPUT 2/INPUT 3**ボタンを押して切り換えます。

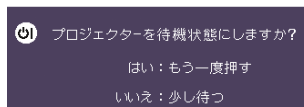
➡29ページ

6. 電源を切るときは

ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す



▼画面表示



- 冷却中は、本体のカーソルボタンが点滅します。(ガイドLED「入」時、48ページ)
- 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

➡26ページ

本機を設置する

本機の設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。



メモ

- ・スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。

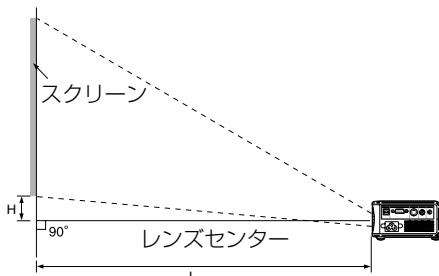
基本的な設置(前面からの投映)

- 投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（19ページ）



基本設置例

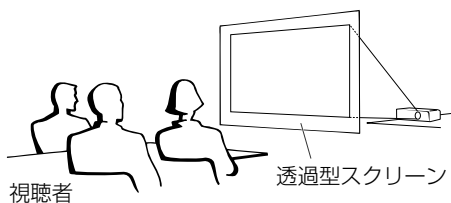
横から見たとき



反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- 「投映方式」メニューで「左右反転」に設定して、画面の左右を反転してください。（46ページ）

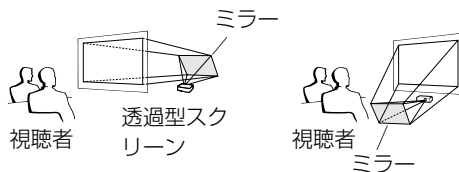


「標準」に設定

「左右反転」に設定

ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー（表面鏡）を設置してください。
- 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「投映方式」メニューで「標準」に設定してください。（46ページ）
- 視聴者側にミラーを置くときは、「投映方式」メニューで「左右反転」に設定してください。（46ページ）



お知らせ

- ・ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

画面サイズと投映距離(XR-1X)

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。) **30**ページ参照

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンターまでの距離 (H)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	最短 (L1)	最長 (L2)	
270"	5.49	4.11	9.9 m		-51 cm
250"	5.08	3.81	9.1 m		-47 cm
200"	4.06	3.05	7.3 m	8.5 m	-38 cm
150"	3.05	2.29	5.5 m	6.4 m	-28 cm
100"	2.03	1.52	3.7 m	4.3 m	-19 cm
80"	1.63	1.22	2.9 m	3.4 m	-15 cm
70"	1.42	1.07	2.6 m	3.0 m	-13 cm
60"	1.22	0.91	2.2 m	2.6 m	-11 cm
40"	0.81	0.61	1.5 m	1.7 m	-8 cm
30"	0.61	0.46	1.1 m	1.3 m	-6 cm

χ : 画面サイズ (型)

L: 投映距離 (m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$$L1 = 0.03658\chi$$

$$L2 = 0.04267\chi$$

$$H = -0.18857\chi$$

16:9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンターまでの距離 (H)	画面シフト可動量 (S)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	最短 (L1)	最長 (L2)		
250"	5.53	3.11	10.0 m		-103 cm	±52 cm
200"	4.43	2.49	8.0 m	9.3 m	-83 cm	±42 cm
150"	3.32	1.87	6.0 m	7.0 m	-62 cm	±31 cm
120"	2.66	1.49	4.8 m	5.6 m	-50 cm	±25 cm
100"	2.21	1.25	4.0 m	4.6 m	-41 cm	±21 cm
80"	1.77	1.00	3.2 m	3.7 m	-33 cm	±17 cm
70"	1.55	0.87	2.8 m	3.3 m	-29 cm	±15 cm
60"	1.33	0.75	2.4 m	2.8 m	-25 cm	±12 cm
40"	0.89	0.50	1.6 m	1.9 m	-17 cm	±8 cm
30"	0.66	0.37	1.2 m	1.4 m	-12 cm	±6 cm

χ : 画面サイズ (型)

L: 投映距離 (m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

S: 画面シフト (表示設定メニュー) の可動量 (cm)

43ページ参照

画面サイズと投映距離の近似式

$$L1 = 0.03985\chi$$

$$L2 = 0.04649\chi$$

$$H = -0.41299\chi$$

$$S = 0.20754\chi$$

メモ

- ・上記投映距離の近似式には±3%の誤差があります。
- ・表中に“-” (マイナス記号) がついた値は、画面下端よりレンズセンターが下になることを示しています。

本機を設置する(つづき)

画面サイズと投映距離(XR-1S)

4:3ズームモード (コンピュータ入力時は、標準モードとなります。) 30ページ参照

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンターまでの距離 (H)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	最短 (L1)	最長 (L2)	
280"	5.69	4.27	9.8 m		-62 cm
250"	5.08	3.81	8.8 m		-55 cm
200"	4.06	3.05	7.0 m	8.1 m	-44 cm
150"	3.05	2.29	5.3 m	6.1 m	-33 cm
100"	2.03	1.52	3.5 m	4.1 m	-22 cm
80"	1.63	1.22	2.8 m	3.3 m	-18 cm
70"	1.42	1.07	2.5 m	2.8 m	-15 cm
60"	1.22	0.91	2.1 m	2.4 m	-13 cm
40"	0.81	0.61	1.4 m	1.6 m	-9 cm
30"	0.61	0.46	1.1 m	1.2 m	-7 cm

χ : 画面サイズ (型)

L: 投映距離 (m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

画面サイズと投映距離の近似式

$L1 = 0.03503\chi$

$L2 = 0.04064\chi$

$H = -0.21971\chi$

16:9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離 (L)		画面下端からレンズセンターまでの距離 (H)	画面シフト可動量 (S)
対角 (型)	幅 (m)	高さ (m)	最短 (L1)	最長 (L2)		
260"	5.76	3.24	9.9 m		-116 cm	±54 cm
250"	5.53	3.11	9.5 m		-112 cm	±52 cm
200"	4.43	2.49	7.6 m	8.9 m	-89 cm	±42 cm
150"	3.32	1.87	5.7 m	6.6 m	-67 cm	±31 cm
120"	2.66	1.49	4.6 m	5.3 m	-54 cm	±25 cm
100"	2.21	1.25	3.8 m	4.4 m	-45 cm	±21 cm
80"	1.77	1.00	3.1 m	3.5 m	-36 cm	±17 cm
70"	1.55	0.87	2.7 m	3.1 m	-31 cm	±15 cm
60"	1.33	0.75	2.3 m	2.7 m	-27 cm	±13 cm
40"	0.89	0.50	1.5 m	1.8 m	-18 cm	±8 cm
30"	0.66	0.37	1.1 m	1.3 m	-13 cm	±6 cm

χ : 画面サイズ (型)

L: 投映距離 (m)

L1: 最短投映距離

L2: 最長投映距離

H: 画面下端からレンズセンターまでの距離 (cm)

S: 画面シフト (表示設定メニュー) の可動量 (cm)

43ページ参照

画面サイズと投映距離の近似式

$L1 = 0.038169\chi$

$L2 = 0.044276\chi$

$H = -0.44691\chi$

$S = 0.20754\chi$

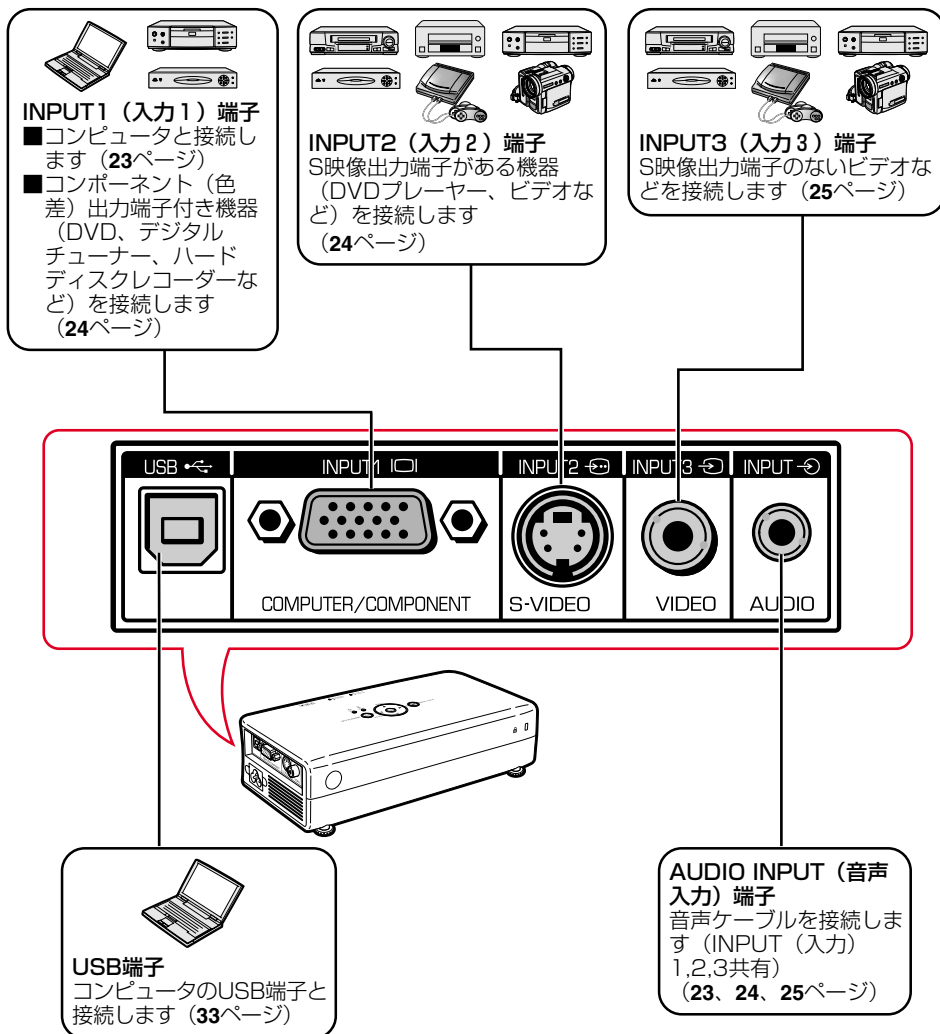


メモ

- ・上記投映距離の近似式には±3%の誤差があります。
- ・表中に“-” (マイナス記号) がついた値は、画面下端よりレンズセンターが下になることを示しています。


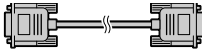




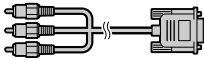
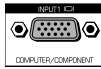
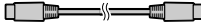

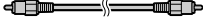

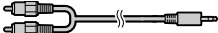

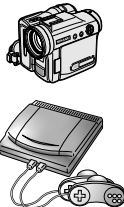
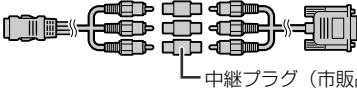
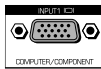
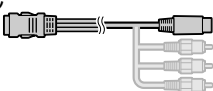

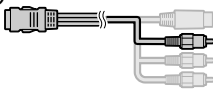

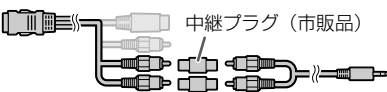

接続する

各入力端子とおもに接続する機器



接続する機器と使用するケーブル例

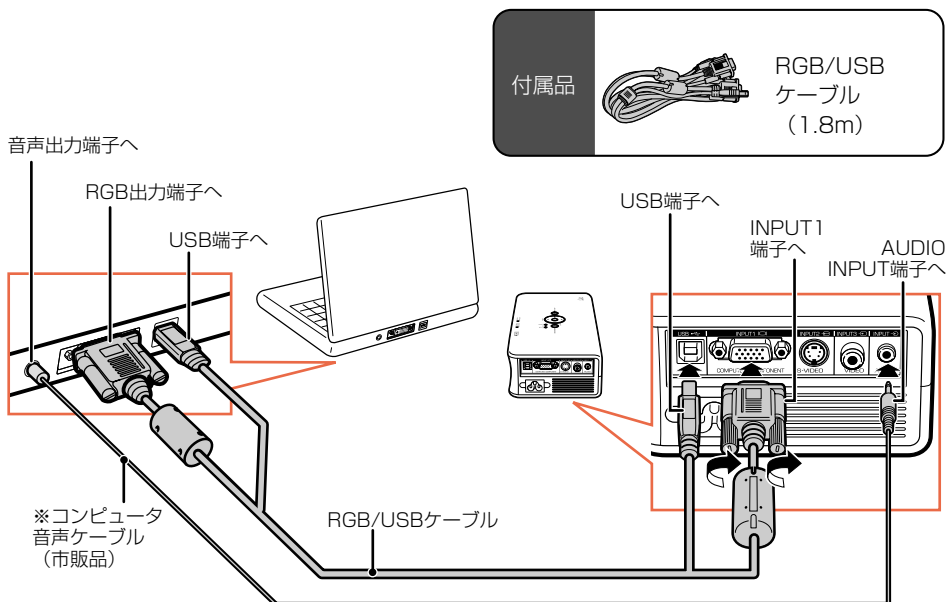
・使用しているケーブル名称は一例です。接続する機器によっては機器専用のケーブルを使用したり、変換プラグやアダプターが必要となる場合があります。詳しくは本機に接続する機器の取扱説明書で確認してください。

接続機器	入力信号	変換ケーブル/接続ケーブル	本体側端子
コンピュータ 	RGB 映像	RGB/USBケーブル (付属品) 	INPUT 1 
	コン ピュータ 音声	コンピュータ音声ケーブル (φ3.5ステレオミニタイプ/市販品) 	AUDIO INPUT 
AV機器 	コンポー ネント 映像	3RCA/D-sub変換ケーブル (別売品: AN-C3CP) 	INPUT 1 
	S映像	S映像ケーブル (市販品) 	INPUT 2 
	映像	映像ケーブル (市販品) 	INPUT 3 
	音声	音声ケーブル: ピンジャック-φ3.5ステレオミニ タイプ変換ケーブル (市販品) 	AUDIO INPUT 
カメラ、ゲーム機 	コンポー ネント 映像	専用ケーブル/3RCA/D-sub変換ケーブル (別売 品: AN-C3CP)  中継プラグ (市販品)	INPUT 1 
	S映像	専用ケーブル 	INPUT 2 
	映像	専用ケーブル 	INPUT 3 
	音声	専用ケーブル/音声ケーブル: ピンジャック- φ3.5ステレオミニタイプ変換ケーブル (市販品)  中継プラグ (市販品)	AUDIO INPUT 

コンピュータを接続する

接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。



※モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。

メモ

- ・ USB接続をすることでマウス機能を使用することができます。(33ページ)
- ・ 対応しているコンピュータの表示モードについては、「RGB入力信号(推奨信号)について」(59ページ)をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- ・ Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(62ページ)へお問い合わせください。
- ・ お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータのユーザーズマニュアルをご覧ください。

「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

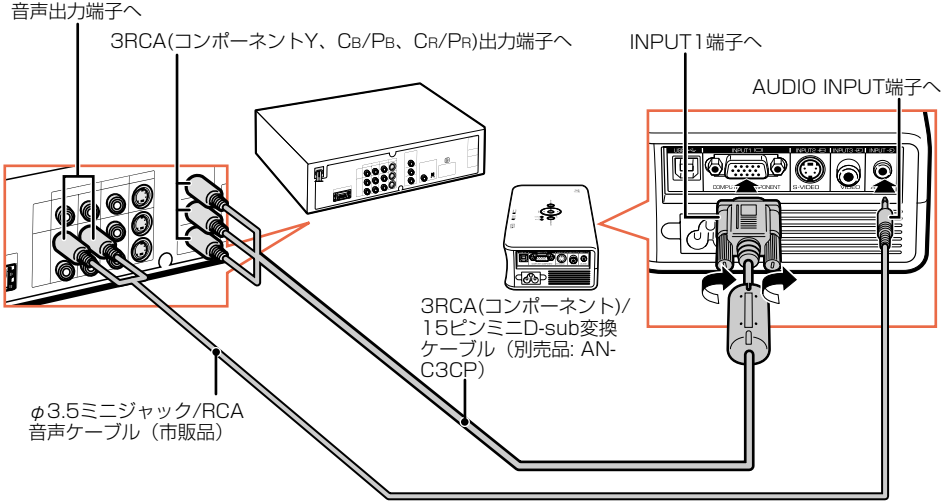
- ・ 本機のDDCプラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

ビデオ機器を接続する

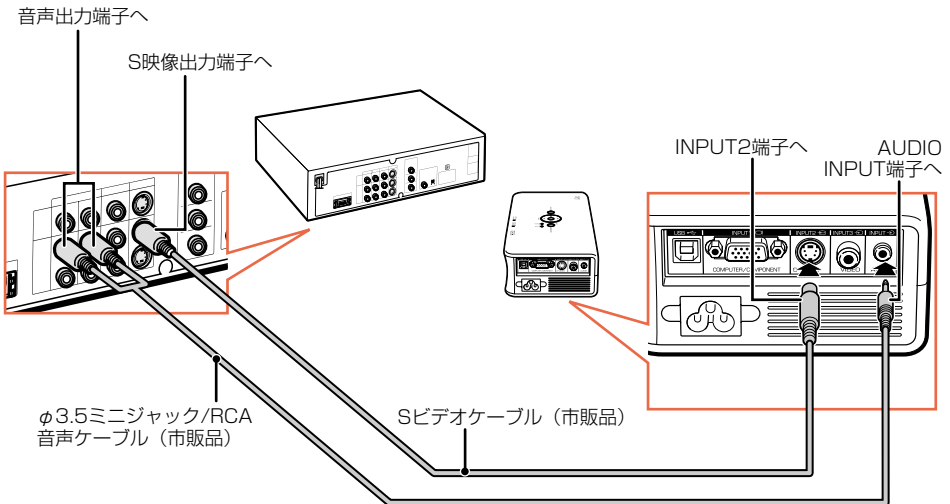
本機はコンポーネント（色差）、S映像、映像に対応した映像入力端子を装備しています。接続する機器の端子に合わせ、次のように接続してください。

映像はコンポーネント映像、S映像、映像の順番で美しい映像を楽しむことができます。コンポーネント映像出力端子を装備した機器と接続するときは本機のRGB/Component端子（INPUT1）と接続することをおすすめします。

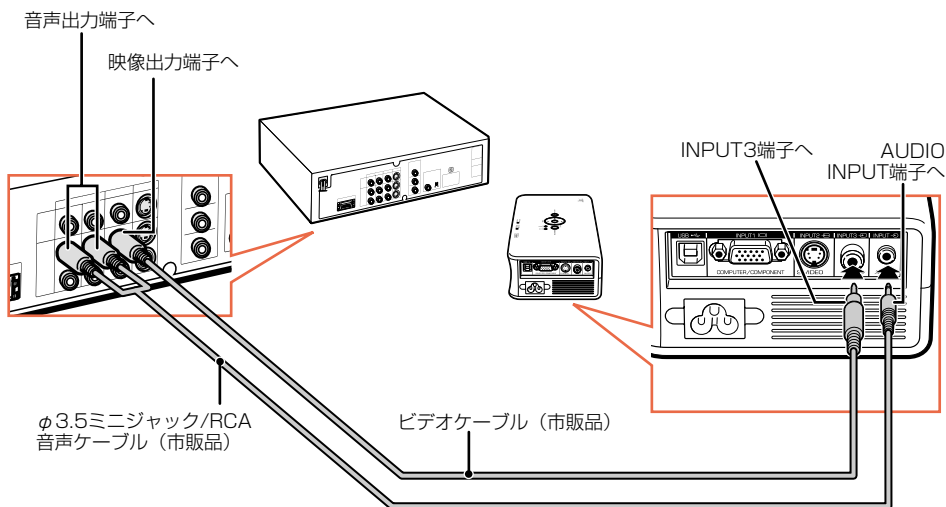
3RCA(コンポーネント)/15ピンミニD-sub変換ケーブルで接続するとき



Sビデオケーブルをご使用の場合



ビデオケーブルをご使用の場合



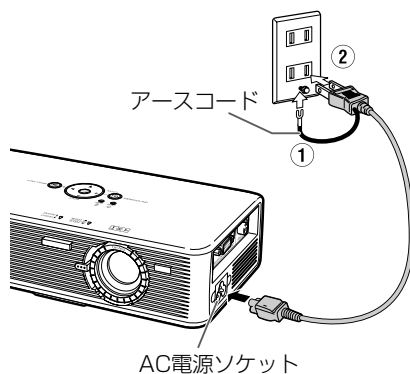
メモ

- ・ 音声ケーブル (市販品) は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

電源コードを接続する

プロジェクターの側面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- ・ 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- ・ アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



電源の入れかた/切りかた

電源を入れるとき

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。(23~25ページ)

また、電源コードの接続も済ませておいてください。(25ページ)

本体の ON/STANDBY または リモコンの ON/STANDBY を押す

- ・ランプ起動中はカーソルボタンの点滅が右回転します。(ガイドLED「入」時、48ページ)
- ・システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。詳しくは49ページをご覧ください。

メモ

・ランプ表示について

動作状況を以下のようにお知らせします。

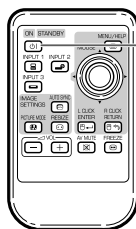
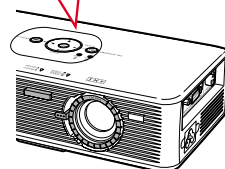
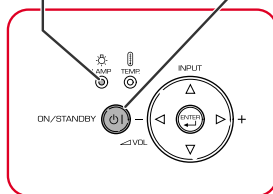
緑色点灯: ランプ点灯中

緑色点滅: ランプ起動中/終了中

赤色点灯: ランプが正常に起動しない(点灯しない)/ランプ交換

- ・電源を入れ、ランプが起動してから約1分間は、まれに投映画像がちらつくことがあります。これはランプ制御回路が出力を安定させるための動作であり、故障ではありません。
- ・プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ(光源)が起動するまで多少時間がかかる場合があります。

ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタン
ランプ表示



ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタン

▼画面表示 (確認画面)

 プロジェクターを待機状態にしますか?

はい: もう一度押す

いいえ: 少し待つ



終了中です。しばらくお待ちください。

電源を切る(待機状態にする)とき

1 本体の  ON/STANDBY または リモコンの  ON/STANDBY を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

2 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

- ・終了中はカーソルボタンの点滅が左回転します。(ガイドLED「入」時、48ページ)

お知らせ

- ・投映中および冷却ファンの動作中は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。

投映のしかた

セットアップガイドについて

電源を入れるとセットアップガイド画面が表示されます。ここでは投映に必要な基本的な設置・設定の手順をお知らせします。

ガイド項目

- 1 ピント合わせ (FOCUS)
- 2 投映角度調整 (HEIGHT ADJUST)
- 3 ズーム調整 (ZOOM)

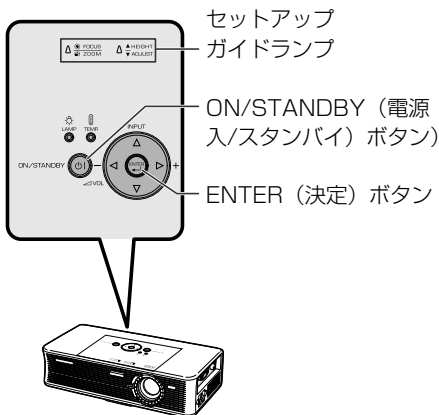
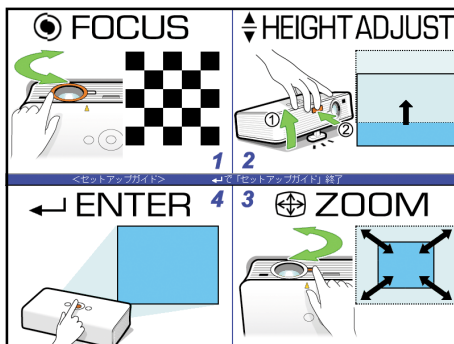
セットアップガイド画面で表示された項目に関連する本体のボタンやセットアップガイドランプが点滅・点灯するので、そのガイドに従い調整する

セットアップガイド画面を消したいときは
ENTERを押す

メモ

- ・セットアップガイド画面は、
① FOCUS → ② HEIGHT ADJUST → ③ ZOOM → ④ ENTER
の順番で自動的に切り換わります。
- ・セットアップガイド画面で表示されている項目に関わらず、ピント合わせ、投映角度調整、ズーム調整を行うことができます。
- ・本体の電源を入れたときにセットアップガイド画面を表示させたくない場合は、「メニュー」-「表示設定」-「セットアップガイド」を「切」に設定して下さい。(45ページ)

セットアップガイド画面

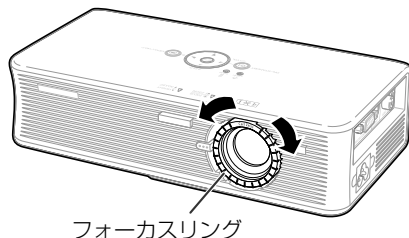


投映画像を調整する

1 投映映像のピントを調整する

フォーカス (ピント) 調整は本体で行います。

画面を見ながらフォーカスリングをまわして調整する



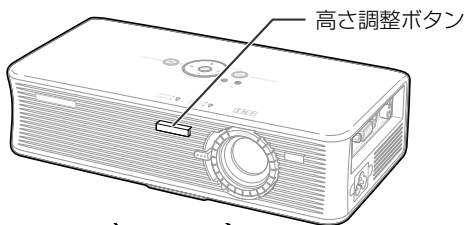
使ってみる

投映のしかた(つづき)

2 アジャスターを使って投映角度を調整する

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。

また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。



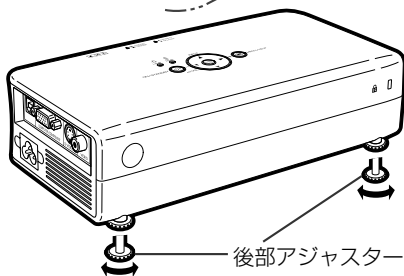
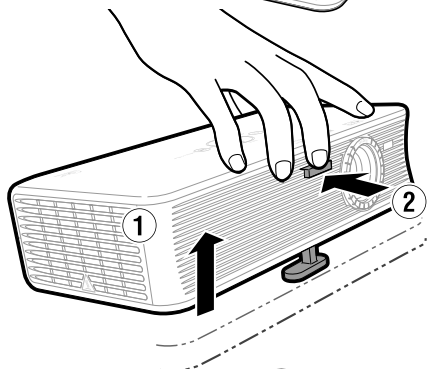
1 高さ調整ボタンを押したまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

2 お好みの高さになったところで、高さ調整ボタンから手を離す

・プロジェクターは水平に置いた状態から約7.5度まで角度調整することができます。

3 左右の傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

・設置位置から±1度補正することができます。



メモ

・投映角度を調整すると投映画像が台形に歪みます。本機は自動台形補正機能で台形歪みを自動補正します。(自動台形補正「入」時、44ページ)自動的に台形補正された画像を更に補正したいときは、手動で台形補正を行ってください。詳しくは44ページをご覧ください。

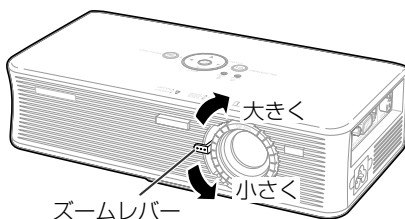
お知らせ

・アジャスターが出ている状態で、過度な力を加えないでください。アジャスターが破損するなど、故障の原因となります。
・プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

3 投映映像の大きさを調整する

ズーム操作は本体で行います。




ズームレバーを動かして拡大／縮小する

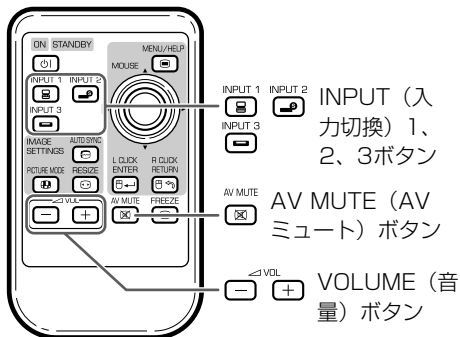


入力を切り換える

接続した機器にあわせて、入力を選択します。

リモコンの INPUT 1、 INPUT 2、 INPUT 3 を押し、入力を選ぶ





- ・本体のINPUT (入力切換) ボタン (△または▽) を押し、 入力1  入力2  入力3 の順番で切り換わります。
- ・自動入力サーチ「入」のとき、本体のINPUT (入力切換) ボタン (△または▽) は自動入力サーチボタンとして働きます。(47ページ)



本体の音量を調整する

リモコンの / または本体の / 押し、スピーカーの音量を調整する


メモ

- ・ /  を押し、音量が小さくなります。
- ・ /  を押し、音量が大きくなります。

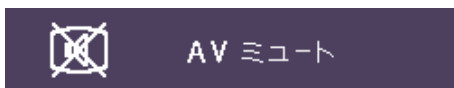
投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンの AV MUTE を押す

メモ

- ・もう一度  AV MUTE を押し、投映画像に戻ります。

▼画面表示



投映のしかた(つづき)

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モード(「標準」・「ボーダー」・「スクイーズ」・「ズーム」)を切り換えることができます。30、31ページの表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

ⓐ RESIZEを押す

・メニューで設定する場合は43ページを参照してください。



RESIZE (画面サイズ切替) ボタン

コンピュータ

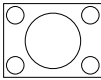
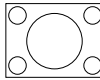
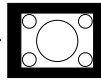
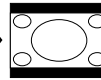
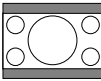
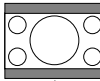
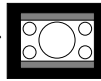
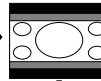
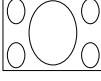
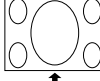
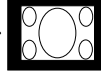
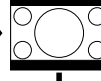
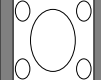
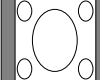
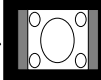
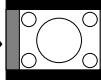
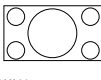
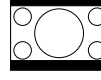

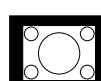
		標準		ボーダー		スクイーズ	
		XR-1X	XR-1S	XR-1X	XR-1S	XR-1X	XR-1S
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	800 × 600	768 × 576	600 × 450	1024 × 576	800 × 450
	XGA (1024 × 768)						
	SXGA (1280 × 960)						
	SXGA + (1400 × 1050)						
その他	SXGA (1280 × 1024)	1024 × 768	800 × 600	768 × 576	600 × 450	1024 × 576	800 × 450
	1280 × 720	-	-	-	-	1024 × 576	800 × 450

入力信号		表示イメージ			
コンピュータ		画像タイプ	標準	ボーダー	スクイーズ
XR-1X	XR-1S				
XGAより解像度が低い	SVGAより解像度が低い	 縦横比4:3			
XGA	SVGA				
XGAより解像度が高い	SVGAより解像度が高い	 縦横比5:4			
SXGA (1280 × 1024)					
1280 × 720		 縦横比16:9	—	—	



*それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

■ : マスクされ映像がない部分

・ 750Pまたは1125iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
DVD/ビデオ	画像タイプ	ズーム	標準	スクイーズ
525i, 525P, NTSC, PAL, SECAM	 縦横比4:3	* 	* 	
	 レターボックス	* 	* 	
	 スクイーズ16:9の画像			* 
	 スクイーズ4:3の画像			* 
750P, 1125i (16:9)	 縦横比16:9の画像	—	—	* 
	 縦横比16:9の画像 (16:9スクリーンに 4:3の画像を投射)	—	—	* 

*それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

-  : マスクされ映像がない部分
-  : 元の信号自体に映像が無い部分

本機に入力される信号と表示について

DVDやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号を、本機はINPUTボタンを押したときに表示します。表示される信号は、有効走査線数を表示しますので、つぎのようになります。

入力信号	本機の表示
525i	480i
525P	480P
750P	720P
1125i	1080i

リモコンで投映画像を調整・操作する

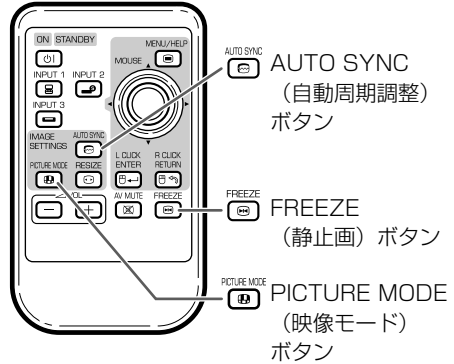
コンピュータから入力された画面を自動同期調整する(自動同期調整機能)

本体起動後に新たな映像信号を検出すると、自動同期調整機能が働きます。

AUTO SYNCを押すと強制的に自動同期調整機能が働きます。

メモ

- ・自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、ヘルプメニュー(51ページ)から手動で同期調整を行ってください。



投映中の画像を静止画にする

1

FREEZEを押す

- ・投映中の画像が静止画になります。

2

FREEZEを再度押す

- ・接続した機器の現在の画像に戻ります。

投映する画像に合わせた映像モードを選ぶ

映画やゲームなど投映する画像に合わせた映像モードを選ぶことができます。

PICTURE MODEを押す

- ・押すたびに

「標準→プレゼンテーション→シネマ→ゲーム」

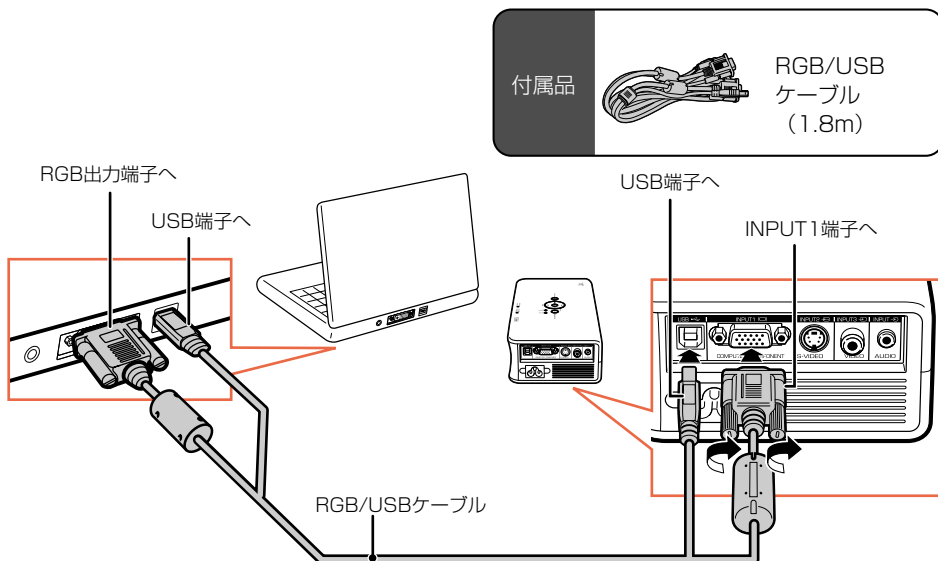
の順番で切り換わります。

メモ

- ・映像モードについて、詳しくは40ページをご覧ください。

マウス機能を使う

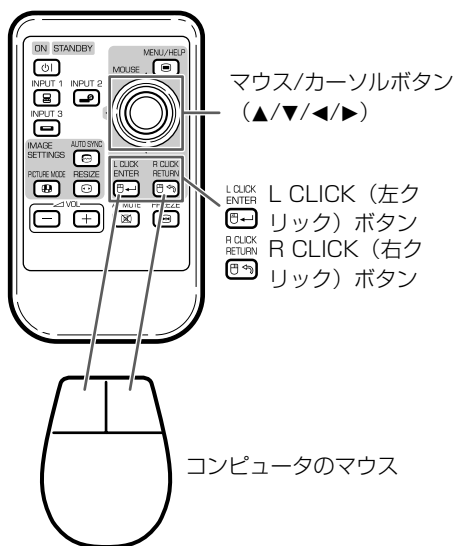
付属のRGB/USBケーブルで本体とコンピュータを接続すると、コンピュータのマウス操作を付属のリモコンで操作することができます。



1 付属のRGB/USBケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

2 マウス機能を使う

- ・ポインタを動かすときはマウス/カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押します。
- ・ L CLICKボタンは左クリックボタンとして働きます。
- ・ R CLICKボタンは右クリックボタンとして働きます。
- ・クリックボタンがひとつのマウス(Macintoshなど)の場合は、 L CLICKボタンと R CLICKボタンは同じ働きをします。



メモ

- ・メニュー画面が表示されているとマウス機能の操作はできません。

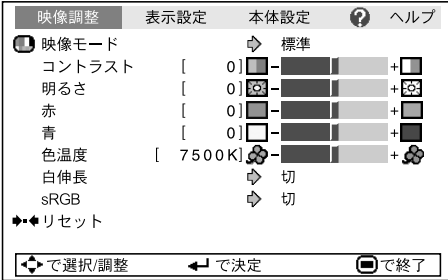
便利な機能

メニュー内容一覧

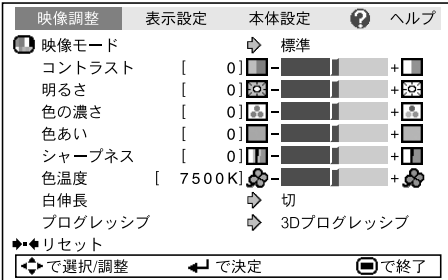
次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー

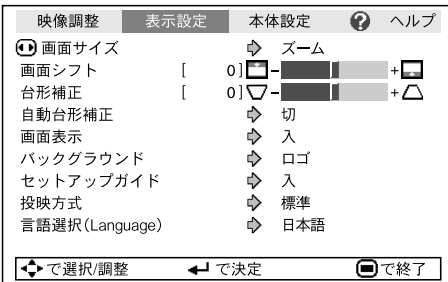
入力1 (RGB)



入力1 (色差) / 入力2 / 入力3



「表示設定」メニュー



■先頭にアイコン (🔍, 🔄) がついている項目はリモコンでも設定できる項目です。

メインメニュー

映像調整
→40ページ

映像モード
→40ページ

サブメニュー

標準
プレゼンテーション
シネマ
ゲーム

コントラスト -30 ↔ +30
明るさ -30 ↔ +30
赤 -30 ↔ +30
青 -30 ↔ +30
色の濃さ -30 ↔ +30
色あい -30 ↔ +30
シャープネス -30 ↔ +30
→40ページ

色温度
→41ページ

5500K
6500K
7500K
8500K
9300K
10500K

白伸長[入/切]
→41ページ

プログレッシブ
→42ページ

2Dプログレッシブ
3Dプログレッシブ
フィルム

sRGB[入/切]
→42ページ

リセット

*1 入力1にRGB信号が入力されているときに設定できる項目です。

*2 入力1にコンポーネント(色差信号)が入力されているとき、または入力2か入力3を選択しているときに設定できる項目です。

メインメニュー

表示設定
→43ページ

画面サイズ
→43ページ

入力1 RGB信号入力時

標準
ポーター
スクイーズ

画面シフト
(XR-1X) -96 ↔ +96
(XR-1S) -75 ↔ +75
→43ページ

入力1 コンポーネント
(色差)信号入力時
入力2, 入力3 選択時

台形補正
(XR-1X) -127 ↔ +127
(XR-1S) -100 ↔ +100
→44ページ

ズーム
標準
スクイーズ

自動台形補正[入/切]
→44ページ

画面表示[入/切]
→44ページ

バックグラウンド
→45ページ

ロゴ
ブルーバック
無し

セットアップガイド[入/切]
→45ページ

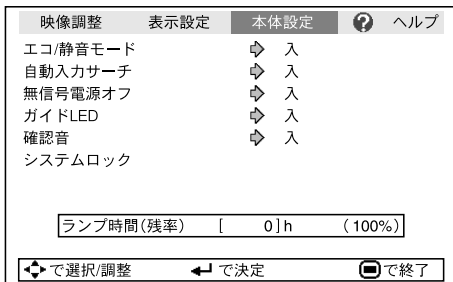
投影方式
→46ページ

標準
上下反転
左右反転
上下左右反転

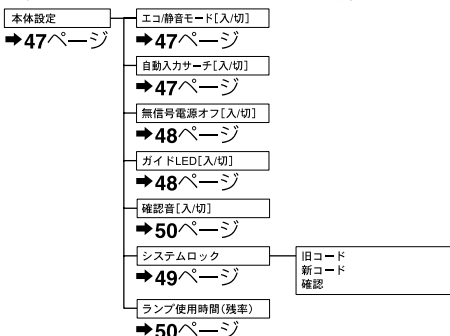
言語選択
→46ページ

English
Deutsch
Español
Nederlands
Français
Italiano
Svenska
Português
汉语
한국어
日本語

「本体設定」メニュー

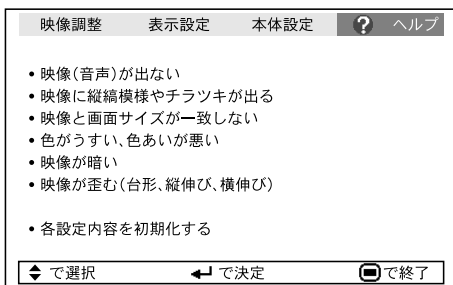


メインメニュー



サブメニュー

「ヘルプ」メニュー



ヘルプメニューで設定できる項目

「ヘルプ」メニュー⇒51ページ

- 映像に縦縞模様やチラツキが出る
 - 自動同期調整
 - 垂直ノイズ調整
 - 水平ノイズ調整
 - 映像と画面サイズが一致しない
 - 自動同期調整
 - 水平位置
 - 垂直位置
 - 色がうすい、色あいが悪い
 - 入力1選択時
 - 入力信号タイプ:自動/RGB/色差
 - 入力2、入力3選択時
 - 映像信号方式:自動/PAL/SECAM/NTSC4.43/NTSC3.58/PAL-M/PAL-N/PAL-60
- * 設定できる項目は、入力されている信号や選択している入力で変わります。

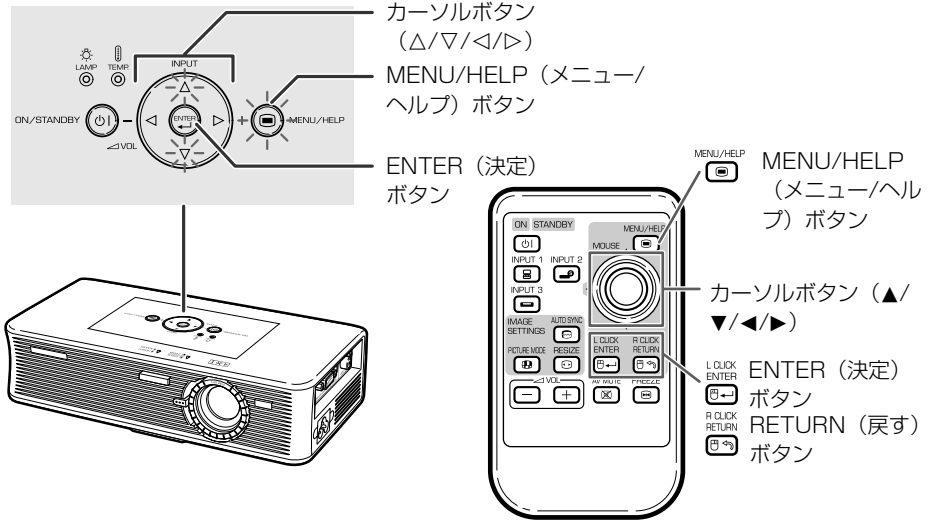
メニュー操作のしかた

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整は次の手順に従って行います。
(設定方法は38～39ページをご覧ください。)

本体で操作するとき

メニュー項目の「本体設定」で「ガイドLED」が「入」に設定されているときはメニュー設定中に使用できる本体のボタンが点灯します。

例:本体の△▽ボタンと⊕MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタンが点灯しているときは、△▽ボタンと⊕MENU/HELP(メニュー/ヘルプ)ボタンが使用できます。



メニュー画面で調整する

例:「明るさ」を調整するとき
・本体のボタンを使って操作することもできます。

1

⊕MENUを押す

・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2

▶ または ◀ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ

・選ばれたメニュー項目の色が変わります。

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例

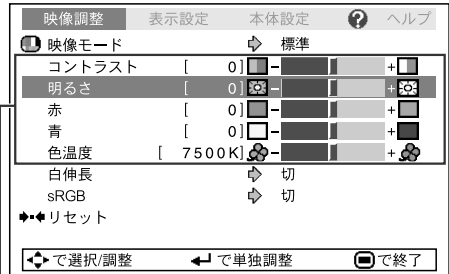
メニュー項目

映像調整	表示設定	本体設定	ヘルプ
映像モード		標準	
コントラスト	[0]	■	+
明るさ	[0]	■	+
赤	[0]	■	+
青	[0]	■	+
色温度	[7500K]	■	+
白伸長		切	
sRGB		切	
◆◆リセット			

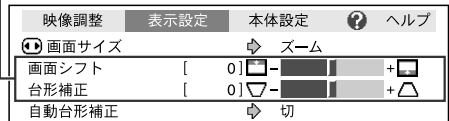
⊕で選択/調整 ◀で決定 ⊕で終了

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- ・選ばれた調整項目の色が変わります。



単独調整項目



投映している画像を見ながら調整したいとき

ENTERを押します。

- ・選んだ単独調整項目(例:「明るさ」など)だけが表示されます。
- ・この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「赤」)が表示されます。

メモ

- ・ENTERを押すと、前の画面に戻ります。

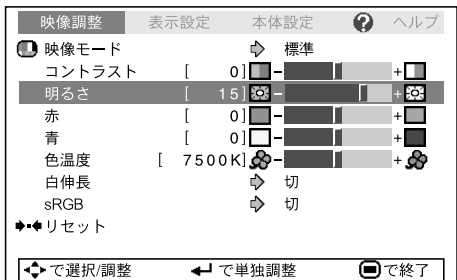


4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- ・調整した内容が保存されます。

5 MENUを押す

- ・メニュー画面が消えます。

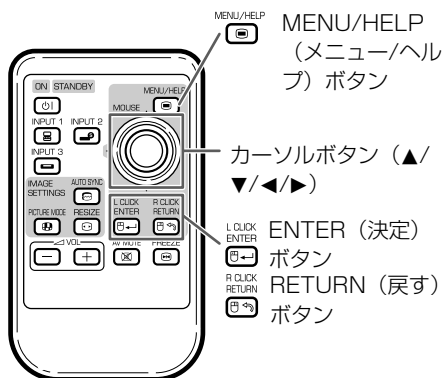


メモ

- ・メニュー画面が表示されているとき、RETURNを押すと一つ前の画面に戻ります。

メニュー操作のしかた(つづき)

メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。設定は次の手順に従って行います。(調整方法は36～37ページをご覧ください。)



メニュー画面で設定する

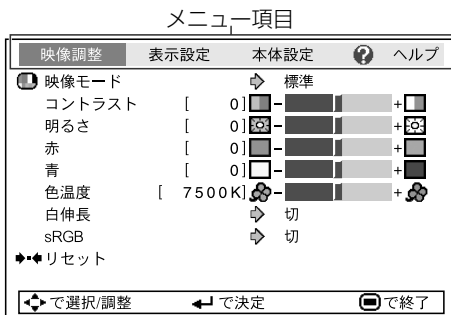
例: 「バックグラウンド」を設定するとき

・本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

- ・選んでいる入力の「映像調整」メニュー画面が表示されます。

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



2 ◀ または ▶ を押し、調整するメニュー項目を選ぶ

- ・選ばれたメニュー項目の色が変わります。

3

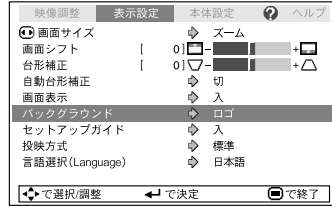
▲または▼を押し、設定する項目を選び、**ENTER**または**▶**を押しサブメニューを表示する

・選ばれた設定項目の色が変わります。

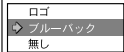
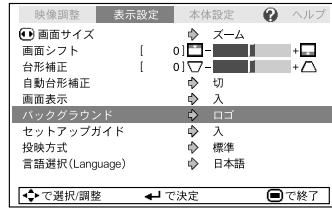


メモ

・**RETURN**または**◀**を押すと、前の画面に戻ります。

**4**

▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

**5**

ENTERを押す

6

MENUを押す

・メニュー画面が消えます。

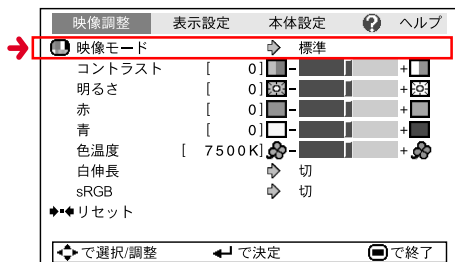
投映した映像を調整・設定する (映像調整メニュー)

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

映像モードを選ぶ

操作方法⇒38ページ参照

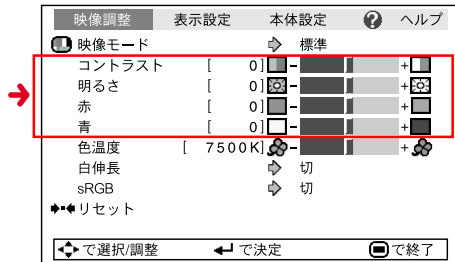
- ▶ 入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



見やすい映像に調整する

操作方法⇒36ページ参照

- ▶ 入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



設定の詳細

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
プレゼンテーション	明るくメリハリを効かせたいときに設定します。
シネマ	自然な色合いで投映したいときに設定します。
ゲーム	くっきり感を重視した映像を投映したいときに設定します。

メモ

・リモコンのPICTURE MODE (映像モード) ボタンでも設定できます。(32ページ)

調整項目の詳細

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	映像の明部と暗部の差を弱くする	映像の明部と暗部の差を強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
赤*1	赤みを弱くする	赤みを強くする
青*1	青みを弱くする	青みを強くする
色の濃さ*2	色をうすくする	色を濃くする
色あい*2	紫がかかった色あいにする	緑がかかった色あいにする
シャープネス*2	画像の輪郭をわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる

*1 「sRGB」が「入」に設定されているとき、または色差入力の場合は、調整・設定は行えません。

*2 RGB入力の場合は表示されません。

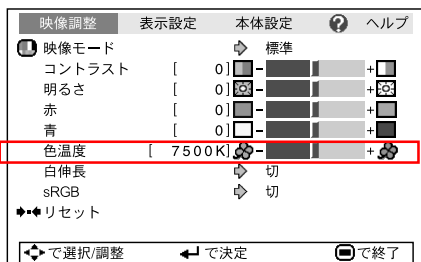
メモ

・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選びENTERを押します。

色味を変える(色温度設定)

操作方法⇒36ページ参照

▶入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メモ

- ・「色温度」の設定項目はおおよその数値です。
- ・「sRGB」が「入」に設定されているときは、「色温度設定」は行えません。

設定の詳細

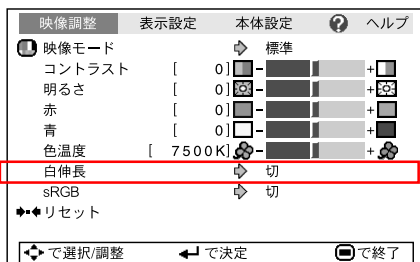
選択項目	内容
5500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき)
6500K	
7500K	
8500K	
9300K	
10500K	青みがかった映像になります。 (すっきりした感じの色にしたいとき)

白レベル(白伸長)を設定する

映像の明るい部分をより明るくします。

操作方法⇒38ページ参照

▶入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メモ

- ・「白伸長」が「入」に設定されているときは色がうすくなったり、色あいが悪くなることがあります。
- ・「sRGB」が「入」に設定されているときは、「白伸長」は設定できません。

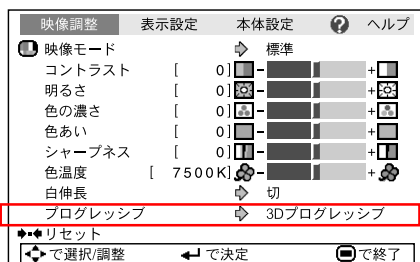
投映した映像を調整・設定する(映像調整メニュー)(つづき)

プログレッシブモードを選択する

映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを選択します。

操作方法⇒38ページ参照

入力2の「映像調整」メニュー画面例



設定の詳細

選択項目	内容
2Dプログレッシブ	スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を投映するのに適しています。
3Dプログレッシブ	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を投映するのに適しています。
フィルム	フィルムイメージ※映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

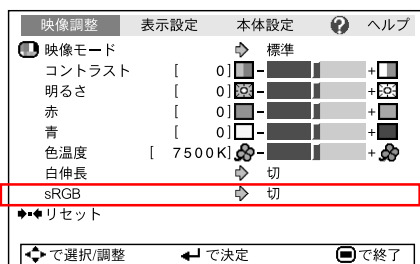
- 映像信号方式がNTSCまたはPAL60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

原画像に近い色合いにする(sRGB設定)

コンピュータの映像と投映画像の色合いを合わせたいときに「入」に設定します。「sRGB」を「入」に設定すると、原画像に基づいた自然な色あいで表示されます。

操作方法⇒38ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メモ

- IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを「入」に設定すると、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。
- sRGB機能についての詳しい情報は、<http://www.srgb.com/>を参照してください。
- 「sRGB」が「入」のとき、「赤」「青」「色温度」「白伸長」は設定できません。

お知らせ

- 「sRGB」を「入」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

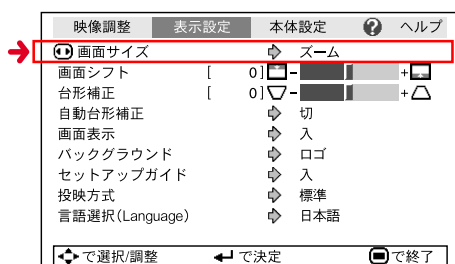
表示のしかたを設定する(表示設定メニュー)

投射した映像や画面上の表示を設定することができます。

画面サイズを設定する

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モードを切り換えることができます。

操作方法⇒38ページ参照



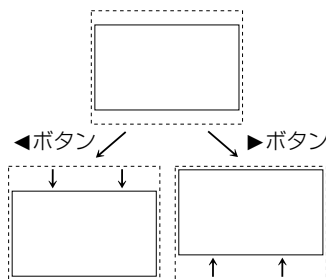
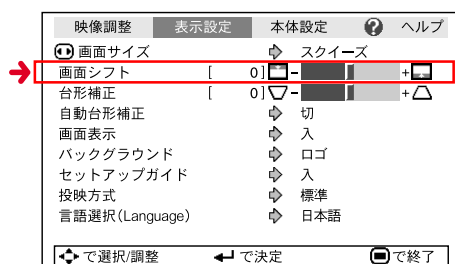
メモ

- ・画面サイズについて詳しくは、30～31ページをご覧ください。
- ・リモコンのRESIZE (画面サイズ切換) ボタンでも設定できます。(30ページ)

映像の位置を上下方向に調整する(画面シフト)

投射した映像を上下に移動することができます。

操作方法⇒36ページ参照



メモ

- ・画面シフト機能は、「画面サイズ」が「ズーム」に設定されているときは選択できません。
- ・設定を工場出荷時の状態に戻したいときは「0」を選びます。
- ・画面シフトを行うと、「台形補正」は「0」になります。また、「自動台形補正」は「切」になります。

便利な機能

表示のしかたを設定する(表示設定メニュー)(つづき)

画面の台形歪みを補正する

画面の台形歪みを自動で補正する機能と手動で補正する機能があります。

自動補正するとき

「表示設定」メニュー画面で「自動台形補正」を「入」に設定する

操作方法⇒38ページ参照

手動補正するとき

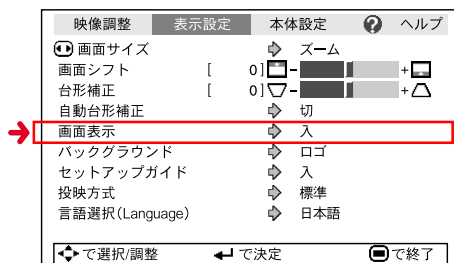
「表示設定」メニュー画面で「自動台形補正」を「切」に設定し、「台形補正」を選び調整する

操作方法⇒36ページ参照

画面に表示されている情報を表示しないように設定する(画面表示)

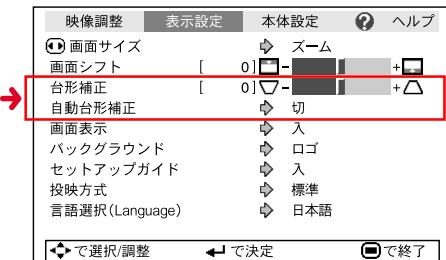
この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。

操作方法⇒38ページ参照

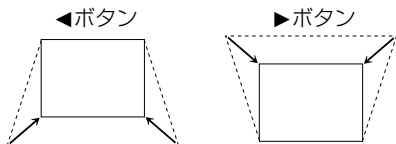


設定の詳細

選択項目	内容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、画面サイズ表示、映像モード表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。



手動で補正するとき

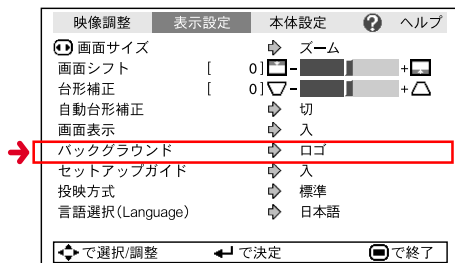


メモ

- ・台形補正できる角度は、スクリーンに対して自動で±約13度、手動で±約15度までです。映像モード:「標準」(コンピュータ入力信号の場合)/「ズーム」(ビデオ入力信号の場合のとき)
- ・スクリーンが斜めのときや、映像品位が気になるときは「自動台形補正」を「切」に設定してください。
- ・台形補正を行ったとき、または「自動台形補正」を「入」に設定したとき、「画面シフト」は「0」になります。

無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する (バックグラウンド設定)

操作方法⇒38ページ参照



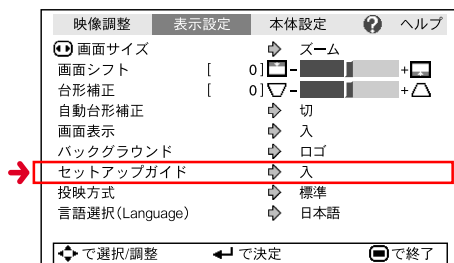
設定の詳細

選択項目	内容
ロゴ	SHARPOロゴ画面
ブルーバック	青い画面
無し	—

セットアップガイド表示を設定する

起動時にセットアップガイドを表示するかどうか設定することができます。

操作方法⇒38ページ参照



設定の詳細

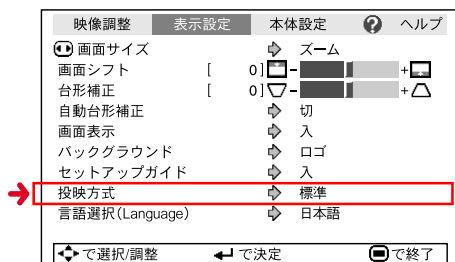
選択項目	内容
入	本体起動時にセットアップガイド画面が表示
切	セットアップガイド画面非表示

表示のしかたを設定する(表示設定メニュー)(つづき)

投映環境に合わせた投映方式を選択する

本機は投映する環境(場所)に合わせて映像を反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

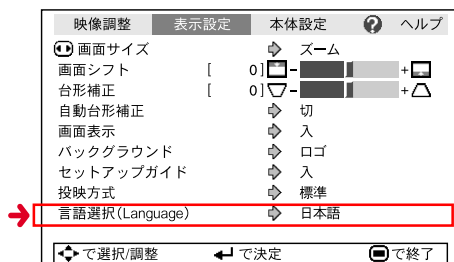
操作方法⇒38ページ参照



画面に表示する言語を選択する(言語選択)

本機は画面表示の言語として11言語を切り換えることができます。

操作方法⇒38ページ参照



設定の詳細

選択項目	内容
標準	スクリーンの正面から投映するとき
上下反転	プロジェクタの映像を鏡を使って投映したとき
左右反転	スクリーンの背面から投映したり、鏡を使って投映したとき
上下左右反転	プロジェクタの映像を鏡を使って投映したとき

選択項目

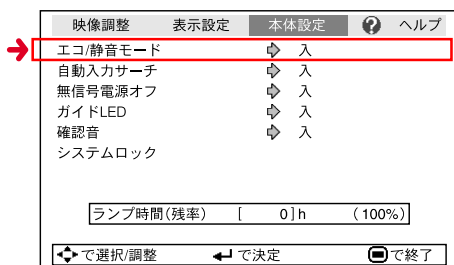
- English
- Deutsch
- Español
- Nederlands
- Français
- Italiano
- Svenska
- Português
- 汉语
- 한국어
- 日本語

本体機能を設定する(本体設定メニュー)

「本体設定」メニュー画面を使って本体の設定を行うことができます。

エコ/静音モードを設定する

操作方法⇒38ページ参照



メモ

- ・工場出荷時は「切」に設定されています。
- ・エコ/静音モードを「入」にすると、「切」に比べて消費電力が低減すると同時に、ランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約10%低減します。)

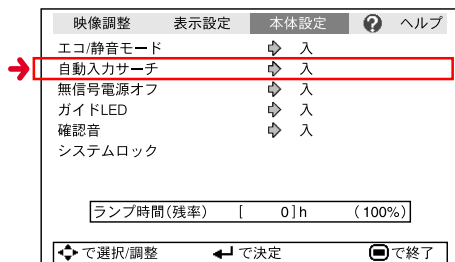
設定の詳細

選択項目	輝度	動作音 (ファン)	消費電力 (AC100V のとき)	ランプ寿命
入	約90%	低	177W	約4,000時間
切	100%	標準	195W	約3,000時間

自動入力サーチ機能を設定する

プロジェクターの電源を入れたときに、信号が入力されている入力を自動的に探して切り換えます。

操作方法⇒38ページ参照



メモ

自動入力サーチ「入」にしたとき

- ・本体を起動させると、自動的に入力信号のある入力が選ばれます。
- ・複数の入力信号があるときは、本体のINPUT (入力切換) ボタン (△または▽) を押し、入力1・入力2・入力3の順に優先されて入力が選択されます。
- ・自動入力サーチ「入」のとき、自動選択された入力以外の入力モードを選びたいときは、リモコンのINPUT (入力) ボタンを押して下さい。
- ・自動入力サーチ「切」のとき、本体のINPUT (入力切換) ボタン (△または▽) を押し、**入力1↔入力2↔入力3↔**の順番で切り換わります。

本体機能を設定する(本体設定メニュー)(つづき)

無信号状態が続いたときに電源を自動的に待機状態にする(無信号電源オフ機能)

操作方法⇒38ページ参照

映像調整	表示設定	本体設定	ヘルプ
エコ/静音モード	⇄	入	
自動入力サーチ	⇄	入	
→ 無信号電源オフ	⇄	入	
ガイドLED	⇄	入	
確認音	⇄	入	
システムロック			

ランプ時間(残率) [0]h (100%)

⇄で選択/調整 ←で決定 終了

メモ

- ・無信号自動電源オフ機能を「入」に設定したときは、無信号状態が続いたとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

設定の詳細

選択項目	内容
入	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
切	無信号状態が15分以上続いても、電源「入」の状態を保持します。

ガイドLEDの入/切を設定する

操作方法⇒38ページ参照

映像調整	表示設定	本体設定	ヘルプ
エコ/静音モード	⇄	入	
自動入力サーチ	⇄	入	
無信号電源オフ	⇄	入	
→ ガイドLED	⇄	入	
確認音	⇄	入	
システムロック			

ランプ時間(残率) [0]h (100%)

⇄で選択/調整 ←で決定 終了

設定の詳細

選択項目	内容
入	操作で使用する部分のランプや操作できるボタンが点灯します。
切	操作をガイドするための点滅・点灯や電源入/切時のカーソルボタンの点滅は行いません。

プロジェクターを不正に使用できないようにする(システムロック設定)

システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。設定したキーコードは必ずメモしてください。

お知らせ

- ・キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター(62ページ)にご相談ください。

操作方法⇒38ページ参照

映像調整	表示設定	本体設定	ヘルプ
エコ/静音モード		⇄ 入	
自動入力サーチ		⇄ 入	
無信号電源オフ		⇄ 入	
ガイドLED		⇄ 入	
確認音		⇄ 入	
→		システムロック	

キーコードを設定・変更する

1 リモコンまたは本体のボタンを押し、「旧コード」の欄に設定済みの4つのキーコードを入力する

- ・はじめに設定するときは、本体の▽を4回押ししてください。

本体設定	
システムロックの設定	
旧コード	■ - - -
新コード	■ - - -
確認	■ - - -

メモ

- ・誤ったキーコードを入力すると、「旧コード」入力のはじめに戻ります。
- ・本機はあらかじめ本体の▽ボタン4つがキーコードとして設定されています。本体の▽ボタン4つは、キーコード入力画面を表示させないようにするキーコードです。

2 リモコンまたは本体のボタンを押し、「新コード」の欄に新しい4つのキーコードを入力する

メモ

- ・次のボタンはキーコードとして設定することができません。
- ・ON/STANDBY(電源入/スタンバイ)ボタン
- ・ENTER(決定)ボタン
- ・RETURN(戻す)ボタン
- ・MENU(メニュー)ボタン
- ・リモコンと本体のボタンは、同じ名称のボタンでも別のボタンとして認識されます。本体のボタンをキーコードに設定した場合は、本体のボタンを押します。リモコンのボタンをキーコードに設定した場合は、リモコンのボタンを押します。

本体設定	
システムロックの設定	
旧コード	■ * * * *
新コード	■ - - -
確認	■ - - -

3 「確認」欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

電源を入れたときにキーコード入力画面を表示させたくないとき

- ・手順2と手順3で本体の▽を4回押ししてください。システムロックが設定されているとき
- ・「システムロック」が設定されているときは、電源を入れたあとにキーコード入力画面が表示されますので、正しいキーコードを入力してください。キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

キーコード入力画面

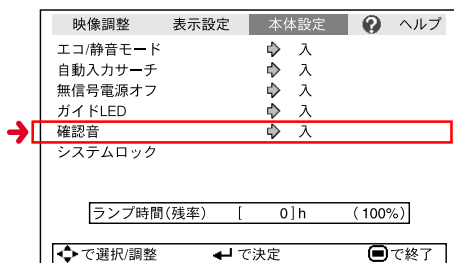
システムロック	■ - - -
---------	---------

本体機能を設定する(本体設定メニュー)(つづき)

確認音を設定する

電源を入れたときや電源を切ったときに確認音が出ます。

操作方法⇒38ページ参照



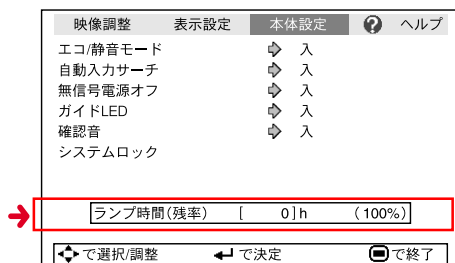
設定の詳細

選択項目	内容
入	本体の電源を入切すると、確認音が出ます。
切	確認音が出ません。

ランプ使用時間を確認する(ランプ時間(残率))

ランプの使用時間と残率が表示されます。

操作方法⇒36ページ参照



ランプ時間(残率)の詳細

ランプ使用条件	ランプ使用可能時間	
	残率表示	
常に「エコ/静音モード」を「入」にして使用	100%	約4,000時間
	5%	約200時間
常に「エコ/静音モード」を「切」にして使用	100%	約3,000時間
	5%	約150時間

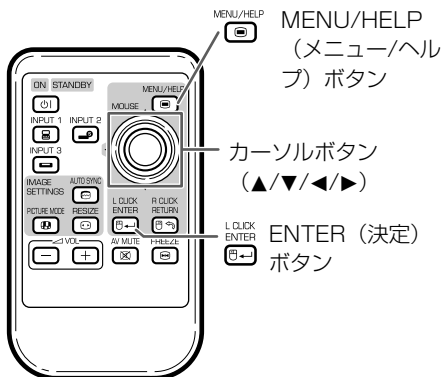
メモ

- ・ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- ・本機のランプ寿命は、使用状況によって変わることがあります。

困ったときは(ヘルプメニュー)

操作に困ったときは、対話式のヘルプ機能で本機や投映映像を設定・調整することができます。

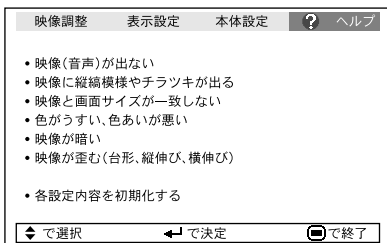
「ヘルプ」メニュー画面を表示する



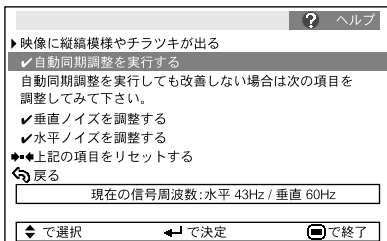
例: 映像にチラツキがあるとき
・コンピューターRGB入力で映像にチラツキがあるときの操作例

1 MENU/HELPを押す

2 ◀/▶を押して「ヘルプ」を選び、ENTERを押す。



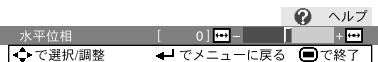
3 ▲/▼を押して「映像に縦縞模様やチラツキが出る」を選び、ENTERを押す



4 「自動同期調整を実行する」を選び、ENTERを押す

5 映像が改善されなかったときは、「水平ノイズを調整する」を選び、ENTERを押す

6 ◀または▶を押して、調整する



メモ

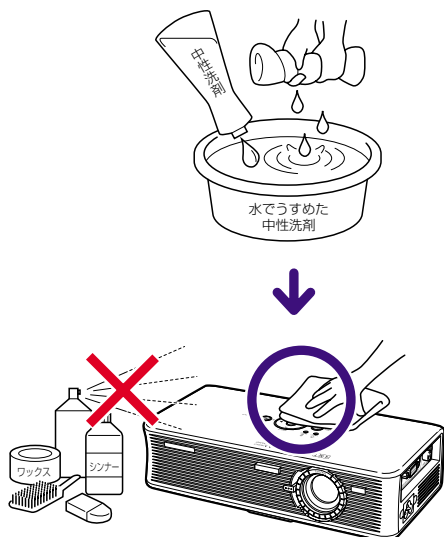
- ・チェックマーク(✓)がついている項目を調整することができます。
- ・ヘルプ映像の内容によっては表示されない項目があります。
- ・ヘルプ機能で解決方法が見つからなかったときは、「故障かな?と思ったら」(60ページ)を参照してください。

お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

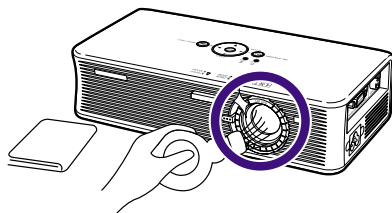
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
 - 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

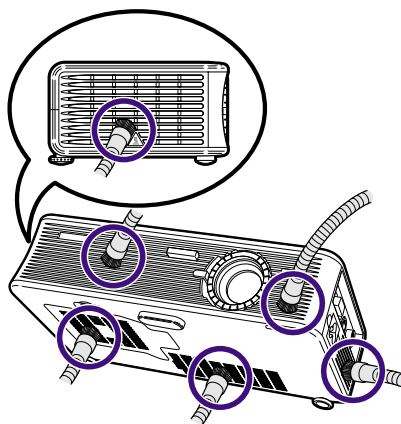
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのですったり、たたいたりしないでください。



排気孔や吸気孔の手入れのしかた

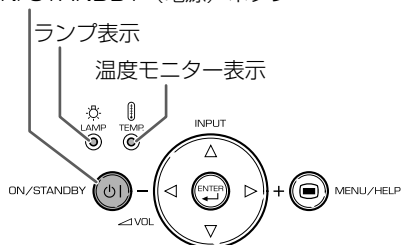
- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示 (ON/STANDBY (電源) ボタン、ランプ表示、液晶モニター表示) が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。

ON/STANDBY (電源) ボタン



温度モニター機能について



設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「**温度**」が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、ファン冷却後、待機状態になります。画面左下に「**温度**」の表示が出た時点で 54 ページの表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について





- ランプ残率が5%以下になると、「**⚠** (黄色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「**⚠** (赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ (光源) が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

お知らせ表示について(つづき)

	お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
	正常	異常			
温度モニター表示	消灯	赤色点灯 (待機状態時)	内部温度が高温 になっている	・通風孔がふさがれている	・正しい設置場所に設置してください。(10ページ) ・販売店、またはもよりのシャープ修理相談センター(62ページ)に修理を依頼してください。
				・冷却ファンの故障 ・内部回路の故障 ・内部通風孔の目づまり	
ランプ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源 起動中)	赤色点灯 赤色点灯 (待機状態時)	ランプが正常に 起動(点灯)しない	—	・電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで電源を入れてください。 ・ランプを交換してください。(56ページ) ・ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口(62ページ)にお問い合わせください。 ・ランプを交換するときは、注意して行ってください。 ・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。
			ランプ交換時期	ランプ(光源) が点灯しない	
ON/ STANDBY (電源)ボタン	赤/緑色 点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	・ランプユニットカバーが外れている	・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様相談窓口(62ページ)にお問い合わせください。

お知らせ

- ・温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置(10ページ)を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(10分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- ・プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- ・プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体の  ON/STANDBY またはリモコンの  ON/STANDBY を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- ・冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- ・投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（50ページ参照）
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコ/静音モード：ランプ残率約75%/標準モード：ランプ残率約67%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 別売のランプユニット（形名AN-XR1LP）は、お買いあげの販売店でご購入ください。

⚠ 警告

- ・ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店に内部の点検を依頼してください。

⚠ 警告

- ・当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったりに口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプ交換時のご注意

⚠ 警告

- ・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ・ランプユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。



ランプ交換は、次ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。

*なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

* 新しいランプユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

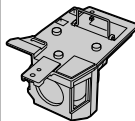
ランプを交換する(つづき)

ランプ交換のしかた

お知らせ

- ・取っ手をつかんで、ランプユニットを取り外してください。ランプユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- ・けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ・ランプユニットカバーとランプユニット以外のネジは絶対に外さないでください。

別売品



ランプユニット
形名
AN-XR1LP

1 本体の **ON/STANDBY** またはリモコンの **ON/STANDBY** を押し、プロジェクターを待機状態にする

- ・冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- ・ランプユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプおよびその周辺が高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

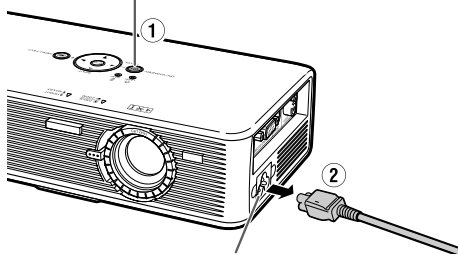
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- ・電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ・ランプユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

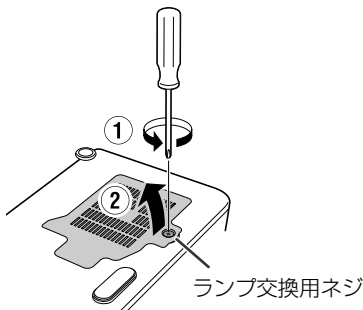
3 ランプユニットカバーを取り外す

- ・プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているランプ交換用ネジをゆるめます(①)。矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します(②)。

ON/STANDBY (電源入/
スタンドバイ) ボタン



AC電源ソケット



ランプ交換用ネジ

4 ランプユニットを取り外す

- 固定ネジをランプユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

5 新しいランプユニットを挿入する

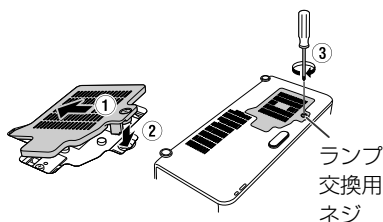
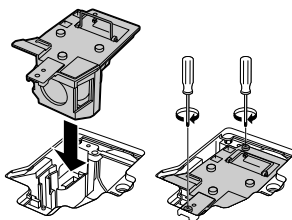
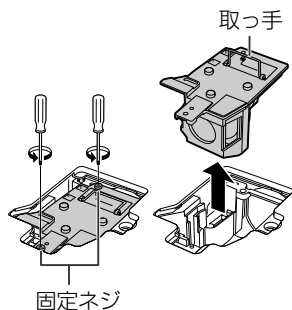
- ランプユニットをしっかりとランプユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

6 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ(①)、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます(②)。ランプ交換用ネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します(③)。

お知らせ

- 電源コードが接続されていてもランプユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

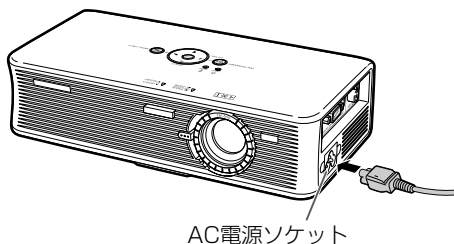


ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外に行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

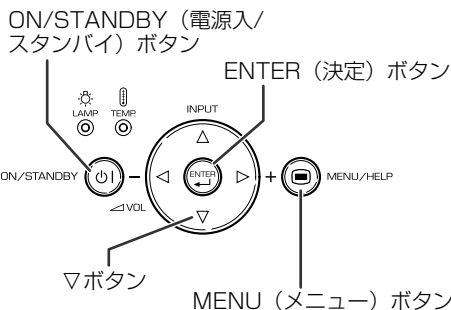


1 電源コードをプロジェクトターに接続する

- 電源コードをプロジェクトターのAC電源ソケットに接続します。

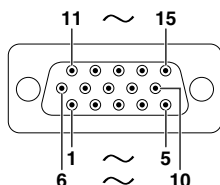
2 ランプ使用時間をリセットする

- プロジェクトター本体の⊙MENU・⊙ENTER・▽を同時に押しながら、⊙ON/STANDBYを押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。



本体のコネクターのピン配置

入力1 RGB信号端子: 15ピンミニD-subコネクタ (メス)



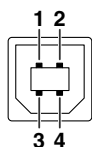
RGB入力

1. 映像入力 (赤)
2. 映像入力 (緑/シンクオングリーン)
3. 映像入力 (青)
4. NC
5. NC
6. 接地 (赤)
7. 接地 (緑/シンクオングリーン)
8. 接地 (青)
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント (色差) 入力

1. PR (CR)
2. Y
3. PB (CB)
4. NC
5. NC
6. 接地 (PR)
7. 接地 (Y)
8. 接地 (PB)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

USB端子: 4ピンBタイプUSBコネクタ (メス)



- | | 信号 | 信号名 |
|----|------|---------|
| 1. | SG | 接地 |
| 2. | USB+ | USBデータ+ |
| 3. | VCC | USB電源 |
| 4. | USB- | USBデータ- |

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

- ・幅広い信号に対応
水平周波数：15kHz～70kHz
垂直周波数：45Hz～85Hz
ドットクロック：12MHz～108MHz
同期信号：TTLレベルに対応。
- ・シンクオングリーン信号に対応。
・圧縮表示により次の解像度に対応。
XR-1X: SXGA, SXGA+
XR-1S: XGA, SXGA, SXGA+
・圧縮表示／拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	ディスプレイ		
					XR-1X	XR-1S	
PC	VGA	640 × 350	27.0	60		拡大表示	拡大表示
			31.5	70			
			37.5	85	✓		
		640 × 400	27.0	60			
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
			27.0	60			
		720 × 400	31.5	70			
			27.0	60			
			31.5	70			
	37.9		85	✓			
	26.2		50				
	31.5		60	✓			
	640 × 480	34.7	70				
		37.9	72	✓			
		37.5	75	✓			
		43.3	85	✓			
		31.4	50				
		35.1	56	✓			
	SVGA	800 × 600	37.9	60	✓	拡大表示	リアル表示
			46.6	70	✓		
			48.1	72	✓		
46.9			75	✓			
53.7			85	✓			
40.3			50				
XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓	リアル表示	リアル表示	
		56.5	70	✓			
		60.0	75	✓			
		68.7	85	✓			
		55.0	60				
		66.2	70				
SXGA	1,152 × 864	67.5	75	✓	圧縮表示	圧縮表示	
		64.0	60	✓			
		64.0	60				
SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60				
		64.0	60				
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			
MAC 16"	SVGA	800 × 600	37.8	60	拡大表示	拡大表示	
		832 × 624	49.7	75		リアル表示	
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75	リアル表示	リアル表示	
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.7	75	圧縮表示	圧縮表示	






メモ

- ・本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
- ・本機は640×350VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。

DTV

入力信号(有効走査線数)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
525I (480i)	15.7	60
525P (480P)	31.5	60
625I (576i)	15.6	50
625P (576P)	31.3	50
750P (720P)	45.0	60
1125I (1080i)	28.1	50
1125I (1080i)	33.8	60
1125I (1035i)	28.1	50
1125I (1035i)	33.8	60

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	25
	・接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	・表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	29
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23～25
	・リモコンのボタン電池が消耗していませんか。	14～15
 音声は出るが映像が出ない（暗い）	・ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	23
	・ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	56～57
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23～25
	・映像調整の「明るさ」が「-（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。	40
	・映像調整は、正しく調整されていますか。	40
 色がうすい、色あいが悪い	<ビデオ入力するとき> ・ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	51
	・レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	27
 映像がボヤける ノイズが発生する	・投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	19
	<コンピュータ入力するとき> ・同期調整（クロック調整）を行ってください。	51
	・同期調整（位相調整）を行ってください。	51
	・コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	-
	・プロジェクターの配線は、正しく接続されていますか。	23～25
 映像は出るが音声が出ない	・音量が最小になっていませんか。	29
	キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	・画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。
お知らせ表示（本体ランプ）が赤点灯（点滅）する	・「お知らせ表示について」をご覧ください。	54

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1のコンポーネントモードで画面が緑がかる	・ 入力信号タイプが正しく設定されていますか。再設定してください。	51
入力1のRGBモードで画面がピンクがかる		
映像が明るすぎて白っぽくなる	・ 映像調整は、正しく調整されていますか。	40
ファンの音が大きくなる	・ 内部温度が上昇し、冷却するためファンの回転が早くなるためです。	-
電源を入れてもランプが点灯しない	・ ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	53
使用中に突然ランプが消灯した		
映像が時々ちらつくことがある	・ 接続状態や接続機器に問題はありませんか。 ・ 頻繁に起こるときは、ランプが故障している場合があります。ランプを交換してください。	23~25、 51、56
電源を入れるとき、ランプが点灯するまで時間がかかる	・ ランプは消耗品です。寿命が近づくと点灯しにくくなることや映像が暗くなる場合があります。ランプを交換してください。	56
映像が暗い		

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの妨害ノイズや誤った操作により、正常に動作しない事があります。正常に動作しない時は、一度、電源プラグをコンセントから抜き、約30秒以上おいてから再びコンセントに差し込んで電源を入れ直して下さい。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、
お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

- 受付時間 * 月曜～土曜：午前9時～午後6時
- * 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221
○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。			

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、

下記地区別窓口にて承っております。

- 受付時間 * 月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
- 〔但し、沖縄・奄美地区〕は…… * 月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

地区別窓口一覧

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水水島坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川県野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18

地区別窓口一覧(つづき)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL	FAX	〒261-8520
	043 - 297 - 4649		
西日本相談室	TEL	FAX	〒581-8585
	06 - 6621 - 4649		

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(04.05)

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源（ランプ）以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源（ランプ）およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。（6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

ご不明な点や修理に関する ご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談窓口（62ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 持込修理

- 「故障かな？と思ったら」（60ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話（ ） —

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。● 電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。● 画面が映ったり、消えたりする。● 映像が乱れたり、色がきれいに出不い。● その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

仕様

品名		プロジェクター	
形名		XR-1X	XR-1S
表示方式		単板DMD™ 2倍速カラーホイール色分離方式	
パネル	パネルサイズ	0.7型(縦10.5mm×横14.0mm)	0.55型(縦8.2mm×横10.9mm)
	画素数	786,432(横1024×縦768)ドット	480,000(横800×縦600)ドット
レンズ		1~1.16倍手動ズームレンズ F2.80~F3.10 f25.8mm~f30.0mm	1~1.16倍手動ズームレンズ F2.60~F2.84 f19.3mm~f22.6mm
ランプ		150W	
音声出力		1.0W (モノラル)	
スピーカー		丸型2.8cm×1	
定格電圧		AC100V~240V	
定格周波数		50/60Hz	
入力電流		2.0A	
消費電力		AC100V時：195W (エコ/静音モード「入」時) /177W (エコ/静音モード「切」時) AC240V時：190W (エコ/静音モード「入」時) /167W (エコ/静音モード「切」時)	
消費電力 (電源スタンバイ時)		4W (AC100V) ~5W (AC240V)	
使用温度範囲		5℃~35℃	
保管温度範囲		-20℃~+60℃	
入力端子			
コンピュータRGB/コンポーネント入力端子 (INPUT1)		RGB分離型アナログ信号 / : 15ピンミニD-sub端子 コンポーネント信号 : (INPUT1) : Y1.0Vp-p (75Ω) : PB0.7Vp-p (75Ω) : PR0.7Vp-p (75Ω)	
音声入力端子 (INPUT1/2/3)		音声 : 0.5Vrms、22kΩ以上 : φ3.5ミニジャック端子 (INPUT1/2/3)	
S映像入力端子 (INPUT2)		輝度信号入力 : 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力 : 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω	
ビデオ入力端子 (INPUT3)		映像 : 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : RCAピン端子	
キャビネット		プラスチック	
外形寸法		幅247mm、奥行122mm、高さ64mm (突起部除く)	
質量		1.45kg	

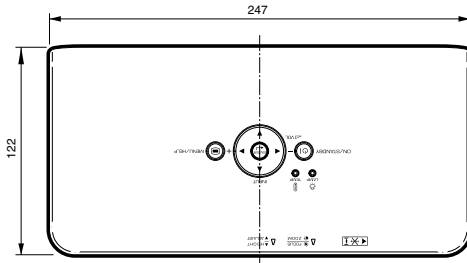
お願い

- ・ DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。
- ・ 本機は、日本国内専用です。(This projector is designed for use in Japan only.)

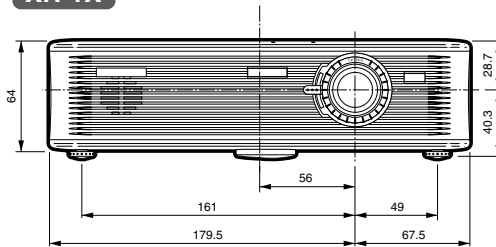
- ・ DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- ・ Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- ・ PC/ATIは米国IBM社の登録商標です。
- ・ Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- ・ その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

寸法図

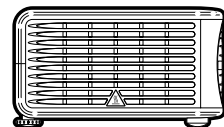
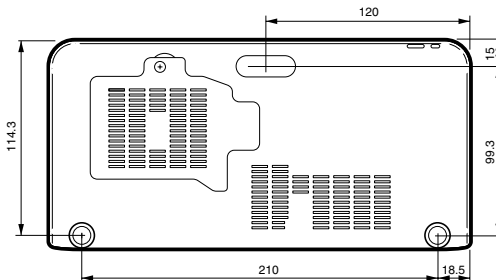
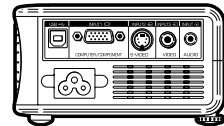
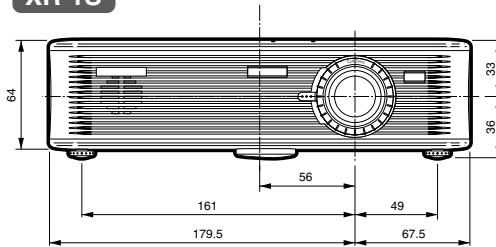
単位：mm



XR-1X



XR-1S



索引

記号英数

AC 電源ソケット	25
AUDIO INPUT (音声入力) 端子	23、24、25
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	32
AV MUTE (AV ミュート) ボタン	29
ENTER (決定) ボタン	36
FREEZE (静止画) ボタン	32
INPUT (入力) 1 端子	23、24
INPUT (入力) 2 端子	24
INPUT (入力) 3 端子	25
INPUT (入力切換) ボタン	29
L CLICK (左クリック) ボタン	33
MENU/HELP (メニュー/ヘルプ) ボタン	36、51
MOUSE (マウス) ボタン	33
ON/STANDBY (電源入/スタンバイ) ボタン	26
R CLICK (右クリック) ボタン	33
RESIZE (画像サイズ切換) ボタン	30
RETURN (戻す) ボタン	37
RGB/USB ケーブル	23
sRGB	42
USB 端子	33
VOLUME (音量) ボタン	29

ア行

青	40
赤	40
明るさ	40
アジャスター	28
色あい	40
色温度	41
色の濃さ	40
映像信号方式	35
映像調整メニュー	40
エコ/静音モード	47
温度モニター表示	53
温度モニター機能	53

カ行

カーソルボタン	36
ガイドLED	48
画面サイズ (RESIZE)	30
画面サイズと投映距離 (XR-1S)	20
画面サイズと投映距離 (XR-1X)	19
画面シフト	43
画面表示	44
キーコード	49
吸気孔	13、52
クロック	51
言語選択 (画面表示言語)	46
後部アジャスター	28
コントラスト	40

サ行

システムロック	49
自動台形補正	44
自動同期調整 (AUTO SYNC)	32、35、51
自動入力サーチ	47
シャープネス	40
白伸長	41
ズーム (表示イメージ)	31
ズームレバー	28
垂直位置	35、51
水平ノイズ調整	35、51
水平位置	35、51
垂直ノイズ調整	35、51
スクイーズ (表示イメージ)	30、31
セットアップガイド	27
ソフトケース	5

タ行

台形補正	44
高さ調整ボタン	28
電源コード	25
投映方式	46
盗難防止用コネクタ	13

ナ行

入力1~3モード	29
----------	----

ハ行

排気孔	13、52
バックグラウンド	45
表示設定メニュー	43
標準 (表示イメージ)	30、31
フォーカスリング	27
付属品	5
プログレッシブ	42
別売品	5
ヘルプメニュー	51
ボーダー (表示イメージ)	30
ボタン電池	14、15
本体設定メニュー	47

マ行

マウスコントロール	33
無信号電源オフ	48

ラ行

ランプ	55
ランプ交換	56
ランプ交換表示	53
ランプ時間 (残率)	50
リモコン	14
リモコン受信部	15

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

62ページ記載の「お客様ご相談窓口のご案内」をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地